

瀬戸内国際芸術祭2022

Setouchi Triennale 2022

総括報告

瀬戸内国際芸術祭実行委員会

目 次

1	概況	1
2	開催概要	2
3	来場者数	4
4	メインビジュアル	6
5	重点的な取組み	7
6	アートプロジェクト・イベント	9
7	新型コロナウイルス感染症対策	15
8	交通の整備	16
9	来場者対応	17
10	オフィシャルツアー、カスタマイズツアー	18
11	ボランティアサポーターの活動	19
12	広報	21
13	視察の受入れ	29
14	チケット、グッズ	30
15	地域への波及、連携	31
16	来場者アンケート	36
17	地域住民の評価	40
18	芸術祭開催による効果	46
19	芸術祭 2022 の収支状況（3カ年）	47

1. 概況

瀬戸内国際芸術祭 2022 は、「海の復権」をテーマに、瀬戸内海の 12 の島々（直島、豊島、女木島、男木島、小豆島、大島、犬島、沙弥島、本島、高見島、粟島、伊吹島）と 2 つの港（高松港、宇野港）周辺を舞台に、春、夏、秋の 3 会期、計 105 日間開催した。

今回は、コロナ禍での開催となったが、「瀬戸内の里海・里山の隠れた資源の発掘と発信」という観点から、小豆島の寒霞渓や屋形崎、与島、多度津町本通、屋島など、様々なエリアで地域の自然や歴史、文化等に注目した作品やイベントを展開した。

来場者数については、3 会期あわせて約 72 万人であった。瀬戸内国際芸術祭 2019 との比較では、コロナ禍で海外からの来場者が大幅に減少したこともあり、約 61% に留まったが、大勢の方々に瀬戸内の魅力を堪能していただくことができた。

新型コロナウイルス感染症対策については、2022 年 3 月に策定した「瀬戸内国際芸術祭 2022 新型コロナウイルス感染症対策の指針」に沿って、飛沫の抑制や手洗い・消毒、換気など基本的な対策はもとより、検温及び体調確認、有症状者の発生時の対応など、島毎の実情に応じた対策を適切に行った。

芸術祭を支えるボランティアサポーター「こえび隊」には、引き続き多くの人が作品制作の補助や作品受付などに参加した。また、「企業・団体ボランティアサポーター」としても、県内外から大勢の方々が参加し、地域住民や来場者との交流を行った。

芸術祭の趣旨に賛同いただける企業・団体に対して協賛を募った結果、262 企業・団体から過去最多となる現金、現物協賛をいただいた。

会場の島々では、アーティストとの協働による作品の制作や受付、地域の特色を活かした食の提供、港での島を挙げてのあたたかい出迎え、見送りなどに地域の方々が大勢参加し、一緒になって芸術祭を盛り上げていただくなど、地域の活性化や再生に繋がる取組みが行われた。

芸術祭の開催にあたりご理解とご協力をいただいた多くの関係機関、地元地域、ボランティア、企業・団体の皆様に深く感謝申し上げる。

《沿革》

- 2020 年 3 月 31 日 瀬戸内国際芸術祭実行委員会第 26 回総会（瀬戸内国際芸術祭 2022 開催決定）
- 2020 年 7 月 28 日 瀬戸内国際芸術祭実行委員会第 27 回総会（取組方針策定）
- 2021 年 3 月 30 日 瀬戸内国際芸術祭実行委員会第 28 回総会（取組方針の見直し）
- 9 月 29 日 メインビジュアル発表会
- 10 月 29 日 瀬戸内国際芸術祭実行委員会第 29 回総会（企画内容決定）
- 11 月 9 日 企画発表会（東京）、公式ウェブサイトリニューアル
- 2022 年 3 月 3 日 瀬戸内国際芸術祭 2022 新型コロナウイルス感染症対策の指針策定
- 4 月 5 日 開幕直前発表会（東京）
- 4 月 14 日 公式ガイドブック発売開始
- 4 月 14 日 瀬戸内国際芸術祭 2022 春会期開幕（～5 月 18 日）
- 8 月 5 日 瀬戸内国際芸術祭 2022 夏会期開幕（～9 月 4 日）
- 9 月 29 日 瀬戸内国際芸術祭 2022 秋会期開幕（～11 月 6 日）
- 11 月 6 日 閉幕

2. 開催概要

- 会 期 春：2022年4月14日（木）－ 5月18日（水）35日間
夏：2022年8月5日（金）－ 9月4日（日）31日間
秋：2022年9月29日（木）－ 11月6日（日）39日間 計105日間
- 会 場 直島、豊島、女木島、男木島、小豆島、大島、犬島、沙弥島（春）、
本島（秋）、高見島（秋）、粟島（秋）、伊吹島（秋）、高松港周辺、宇野港周辺
- 参加作家 33の国と地域から188組213作品、19イベント
- 主 催 瀬戸内国際芸術祭実行委員会
会長 池田豊人（香川県知事）
名誉会長 真鍋武紀（元香川県知事）
〃 浜田恵造（前香川県知事）
副会長 泉雅文（香川県商工会議所連合会会長）
〃 大西秀人（高松市長）
総合プロデューサー 福武総一郎（公益財団法人福武財団名誉理事長）
総合ディレクター 北川フラム（アートディレクター）
- 構成団体（49団体）：
香川県、高松市、丸亀市、坂出市、観音寺市、三豊市、土庄町、小豆島町、直島町、多度津町、
玉野市、(公財)福武財団、(公財)福武教育文化振興財団、香川県市長会、香川県町村会、
四国経済産業局、四国地方整備局、四国運輸局、中国四国環境事務所四国事務所、
国立療養所大島青松園、香川県医師会、四国経済連合会、香川県商工会議所連合会、
香川県商工会連合会、(一社)香川経済同友会、香川県農業協同組合、香川県漁業協同組合連合会、
香川大学、四国学院大学、徳島文理大学、高松大学、香川県文化協会、(公財)四国民家博物館、
(公社)香川県観光協会、(一社)日本旅行業協会中国四国支部香川地区委員会、
(公財)高松観光コンベンション・ビューロー、香川県ホテル旅館生活衛生同業組合、
四国旅客鉄道(株)、高松琴平電気鉄道(株)、香川県旅客船協会、(一社)香川県バス協会、
香川県タクシー協同組合、(公財)香川県老人クラブ連合会、(一社)香川県婦人団体連絡協議会、
(公社)日本青年会議所四国地区香川ブロック協議会、香川県青年団体協議会、さぬき瀬戸塾、
(株)百十四銀行（監事）、(株)香川銀行（監事）
- オブザーバー（3団体）：岡山市、岡山県商工会議所連合会、岡山大学
- 助 成 在日オーストラリア大使館 | 台湾文化部 | 駐日ブラジル大使館 | 文化庁 |
一般社団法人四国クリエイト協会 | 公益社団法人企業メセナ協議会
- 後 援 内閣府 | 総務省 | 厚生労働省 | 経済産業省 | 国土交通省 | 環境省 | 観光庁 |
日本政府観光局（JNTO） | 公益社団法人日本観光振興協会
- パートナー (11企業) 株式会社イトーキ | 鹿島建設株式会社 | カトーレック株式会社 | 株式会社JTB |
ショーワグローブ株式会社 | 日本郵便株式会社 | 株式会社ベネッセホールディングス |
ホッピービバレッジ株式会社 | 三井不動産株式会社 | 三菱地所株式会社 |
株式会社レクザム

協 賛 (251 企業・団体)

四国化成ホールディングス株式会社 | イオンリテール株式会社 | 株式会社 I H I | 株式会社チャリ・ロト | 四国旅客鉄道株式会社 | 西日本旅客鉄道株式会社 | 高松空港株式会社 | 大倉工業株式会社 | オリビアン小豆島夕陽ヶ丘ホテル | 日本たばこ産業株式会社 | 野村證券株式会社 | ミズノ株式会社 | マックスバリュ西日本株式会社 | 株式会社アミューズ | KDD I 株式会社 | 高松琴平電気鉄道株式会社 | 株式会社セブン-イレブン・ジャパン | 株式会社 L i f e - d o . P l u s | 大日本印刷株式会社 | ライスフォース | 株式会社七宝 | 大和証券株式会社高松支店 | 株式会社タダノ | 株式会社百十四銀行 | 株式会社フソウ | ユウ・ティ・イー株式会社 | 大成建設株式会社四国支店 | 株式会社ビザビ | 株式会社ファミリーマート | アオイ電子株式会社 | 有限会社アキヤマ自販 | アセッターズ株式会社 | 株式会社 N T T ドコモ | 株式会社大本組 | オリエンタルモーター株式会社高松事業所 | 株式会社 O n g a k u s h i t s u | 株式会社香川銀行 | 香川県建設業協会高松支部 | 香川県信用金庫協会 | 香川県信用組合 | 香川証券株式会社 | カゴメ株式会社 | かどや製油株式会社 | 木下製粉株式会社 | 株式会社サムソン | 株式会社三光エンジニアリング | 資生堂クリエティブ株式会社 | ジョイテック株式会社 | 商船三井客船株式会社 | 帝國製薬株式会社 | 公益財団法人南海育英会 | 株式会社日本総院 | 株式会社博報堂 | 株式会社ハローズ | 一般財団法人阪大微生物病研究会 | 本州四国連絡高速道路株式会社 | 公益財団法人松平公益会 | 森ビル株式会社 | 株式会社ヤマウチ | 両備グループ | 株式会社岡山高島屋 | ことでんバス株式会社 | 株式会社オーキッド | 公認会計士石川千晶事務所 | 株式会社東芝四国支社 | A I G L E | A N A | 株式会社伊藤園 | レンフロ・ジャパン株式会社 | 日本航空株式会社高松支店 | 株式会社梓設計 | 穴吹エンタープライズ株式会社 | アニエスベージャパン株式会社 | 株式会社アムロン | 株式会社石垣 | 有限会社井上誠耕園 | 今治造船株式会社 | 宇野港土地株式会社 | N T T 西日本 香川支店 | 大紀商事株式会社 | 株式会社大林組 | 株式会社オールブルー | 岡山ガス株式会社 | 一般社団法人香川県建設業協会 | 香川県農業協同組合 | 香川県農業共同組合中央会・各連合会 | 香川県ホテル旅館生活衛生同業組合 | 株式会社カナック | 鎌田醤油株式会社 | 株式会社クボタ | クボタ環境エンジニアリング株式会社 | 株式会社クリエアナブキ | クレディ・スイス証券株式会社 | 株式会社グロップ | 研精堂印刷株式会社 | 株式会社建設マネジメント四国 | 株式会社合田工務店 | 神島化学工業株式会社 | さぬき丸一製麺株式会社 | 四国牛乳輸送株式会社 | 四国通商株式会社 | 四国電力株式会社 | 四国電力送配電株式会社 | 株式会社ジップ | 清水建設株式会社四国支店 | 株式会社菅組 | 総合警備保障株式会社 | 高松帝酸株式会社 | 株式会社タクテック | 株式会社中国銀行 | 株式会社東京美術 | 東洋アルミニウム株式会社 | 株式会社トーカイ | 凸版印刷株式会社 | 株式会社トヨタレンタリース岡山 | 中庭住宅株式会社 | 株式会社西崎組 | 日宝総合製本株式会社 | 株式会社ビッグ・エス | 株式会社福本ボデー | 富士通 J a p a n 株式会社 | 有限会社双葉船舶食料品店 | 株式会社マキタ | 松谷化学工業株式会社 | 株式会社マルヨシセンター | 株式会社三井住友銀行 | 三井物産株式会社四国支社 | 三菱電機株式会社 | 三菱マテリアル株式会社直島製錬所 | ライフデザイン・カバヤ株式会社 | サカケン株式会社 | 香川県建設業協会中讃支部 | 四国団扇株式会社 | キリンビバレッジ株式会社 | 富士建設株式会社 | アイブリックス株式会社 | 株式会社 S T N e t | 香川県漁業協同組合連合会 | 住友商事株式会社 | 勇心酒造株式会社 | 株式会社おもちゃ王国 | 一般社団法人香川県トラック協会 | 協和化学工業株式会社 | 株式会社 C o a マネジメント | コーホク印刷株式会社 | コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社 | 後藤設備工業株式会社 | 株式会社サニーエイト | 一般社団法人四国クリエイト協会 | 小豆島醤油協同組合 | 小豆島調理食品工業協同組合 | 損害保険ジャパン株式会社 | 第一生命保険株式会社東四国支社 | 株式会社トロンマネージメント | ピープルソフトウェア株式会社 | フジガード株式会社 | 富士産業株式会社 | 株式会社松本光春商店 | 株式会社ムレコミュニケーションズ | レオマリゾート | 株式会社 N S メッシュ | 株式会社日栄建設 | 谷口建設興業株式会社 | 株式会社ヒカリ | 株式会社フューチャー・デザイン・ラボ | 四国計測工業株式会社 | 四電ビジネス株式会社 | e B A S E 株式会社 | 株式会社小竹組 | 高松商運株式会社 | 第二建築株式会社 | 株式会社藤田工務店 | 株式会社高岸工務店 | 葵機工株式会社 | 有限会社エイトヒルズ・コーポレーション | 有限会社エイファーマ | 香川県建設業協会小豆支部 | 香川県建設業協会西讃支部 | 香川県建設業協会長尾支部 | 香川県舗装協会 | カンコマナボネクト株式会社 | 北浜 a l l e y 株式会社 | 株式会社香西鉄工所 | 琴平バス株式会社 | 四国塗装株式会社 | 株式会社七星食品 | シンボルタワー開発株式会社 | セーラー広告株式会社 | 株式会社総合開発 | 大同ゴム株式会社 | 大和板紙株式会社 | 高松キワニスクラブ | 宝田電産株式会社 | 株式会社多丸組 | 有限会社手ぬぐい工房ポスター堂 | 西日本ビル管理株式会社 | ばいこう堂株式会社 | 株式会社フードテック | 丸八商工株式会社 | 三豊運送株式会社 | 安田技研株式会社 | 和田精密歯研株式会社 | 森永乳業株式会社 | 株式会社ゴーフールド | 株式会社フクシン | 石丸製麺株式会社 | A N A クラウンプラザホテル岡山 | 株式会社 A D F ・アヤベ | 株式会社岡山京橋クルーズ | 岡山トヨタ自動車株式会社 | 株式会社オリコ | 有限会社川北縫製 | 株式会社きんでん四国支社 | 株式会社グリーンフィールドグラフィック | 株式会社廣榮堂 | 堺屋醤油株式会社 | 株式会社サピエント | 株式会社サンテック | 株式会社 C O 2 資源化研究所 | 株式会社ジェイアール四国企画 | 株式会社 J R 四国ホテルズ | 株式会社ジェイテクト四国工場 | 株式会社四国総合研究所 | 四国鉄道機械株式会社 | 四国塗装工業株式会社 | セキ株式会社 | ダイヤモンド瀬戸内マリンホテル | 株式会社デンショク | 東洋オリブ株式会社 | 東洋工業株式会社 | 徳寿工業株式会社 | 豊田通商株式会社 | 合同会社直島アートユニット | 株式会社長峰製作所 | 株式会社ネクストインターナショナル | ビジネスホテルプリンス | 平井法律事務所 | 株式会社富士クリーン | 株式会社 F U J I D A N | 株式会社伏見製薬所 | 株式会社フジワラテクノアート | 丸善工業株式会社 | 株式会社宮地サルベージ | 株式会社明電舎四国支店 | 株式会社名物かまど | 矢崎総業四国販売株式会社 | 株式会社ユーミック | 株式会社夢葉房たから | 株式会社リブリ | 税理士法人六条 | 長尾工業所

3. 来場者数

- 来場者数は、春会期が 228,133 人、夏会期が 187,483 人、秋会期が 307,700 人で、総来場者数は 723,316 人となった。

■会場別来場者数

会場名	芸術祭 2022 の来場者数 (105 日間※)				芸術祭 2019 の来場者数 (107 日間)
	春会期	夏会期	秋会期	計	
直 島	50,313	50,962	65,462	166,737	303,778
豊 島	26,953	29,452	40,986	97,391	143,373
女木島	14,877	12,633	17,043	44,553	80,007
男木島	12,700	11,344	16,184	40,228	71,809
小豆島	31,643	43,523	48,216	123,382	186,098
大 島	2,143	^(8/15 から公開) 1,557	2,817	6,517	12,877
犬 島	11,058	9,153	14,292	34,503	58,707
沙弥島	44,790	—	—	44,790	72,459
本 島	—	—	17,679	17,679	27,469
高見島	—	—	21,596	21,596	25,198
栗 島	—	—	15,163	15,163	29,561
伊吹島	—	—	13,167	13,167	18,622
高松港周辺	21,529	18,618	21,984	62,131	101,336
宇野港周辺	12,127	10,241	13,111	35,479	47,190
合 計	228,133	187,483	307,700	723,316	1,178,484

※強風による影響や設備のメンテナンス等により、臨時休館した日も含まれている。

【来場者数のカウントについて】

瀬戸内国際芸術祭は、各会場に作品が分散しており、屋外展示作品もあることから、芸術祭のために訪れた実人数やすべての作品ごとの来場者数を把握することができない。

このため、作品の配置状況や来場者の鑑賞ルート等を考慮のうえ、有料施設など入場者数を計測可能な「基準施設（次ページ参照）」を各会場に設定し、会場内の基準施設への来場者数の合計をその会場の来場者数、各会場の来場者数を合計したものを芸術祭全体の来場者数としている。（過去の芸術祭においても同様）

■イベント来場者数

8,125 人（19 イベント計） ※詳細は 14 ページ

■会場別来場者数基準施設一覧

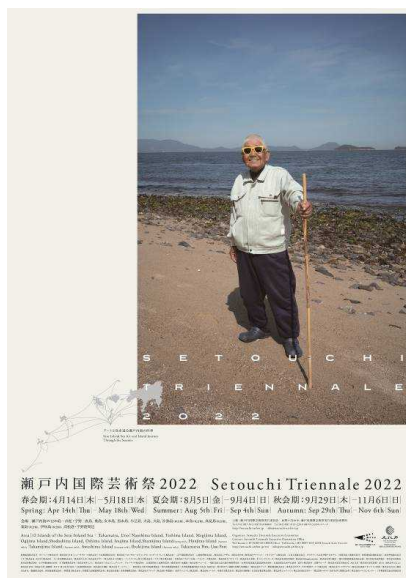
会場	作品番号	施設名・作品名・プロジェクト名	会期		
			春	夏	秋
直島	na10 - B	ANDO MUSEUM	○	○	○
	na11 - B	家プロジェクト「角屋」	○	○	○
	na19 - B	ベネッセハウスミュージアム	○	○	○
	na21 - B	地中美術館	○	○	○
豊島	te03 - B	針工場	○	○	○
	te09	あなたの最初の色（私の頭の中の解〈ソリューション〉-私の胃の中の溶液〈ソリューション〉）	○		
	te13 - B	豊島美術館	○	○	○
	te15 - B	心臓音のアーカイブ	○	○	○
	te18 - B	西本喜美子写真展		○	○
	te20	かげたちのみる夢		○	○
女木島	mg05,06,08,09,11,20-26	女木島名店街	○	○	○
	mg14	ISLAND THEATRE MEGI 「女木島名画座」	○	○	○
男木島	og03	生成するドローイング -日本家屋のために 2.0	○		
	og07	瀬戸で舞う	○	○	○
	og18	男木島パビリオン		○	○
小豆島	sd01	太陽の贈り物	○		
	sd04	迷路のまち～変幻自在の路地空間～	○	○	○
	sd19	山声洞	○	○	○
	sd34 - B	福武ハウス		○	○
	sd44	ゼロ		○	○
	sd49	Utopia dungeon ～ Command from Utopia ～	○	○	○
	sd50	辿り着く向こう岸		○	○
	sd51	小豆島ハウスプロジェクト		○	○
sd54	空の玉 / 寒霞溪	○	○	○	
大島	os06	歩みきたりて	○	○	○
犬島	in01 - B	犬島「家プロジェクト」F邸	○	○	○
	in07 - B	犬島精錬所美術館	○	○	○
沙弥島	sm01	階層・地層・層	○		
	sm12	月への道	○		
本島	ho06	咸臨の家			○
	ho15	SETOUCHI STONE LAB			○
高見島	ta02	時のふる家			○
	ta05	まなうらの景色 2022			○
	ta21	多度津街中プロジェクト			○
粟島	aw04	粟島芸術家村			○
	aw13	「い・ま・こ・こ」			○
伊吹島	ib08	ものがみる夢			○
	ib10	浜辺の歌			○
高松港周辺	tk13	香川県立ミュージアム		○	
	tk20	四国村	○	○	
	tk23	屋島での夜の夢			○
	tk25	PAPER SEA	○	○	○
宇野港周辺	un03	終点の先へ	○	○	○
	un10	実話に基づく	○	○	○

26 29 37

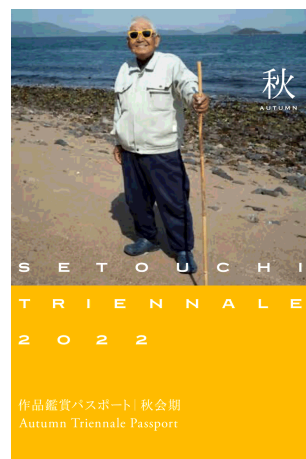
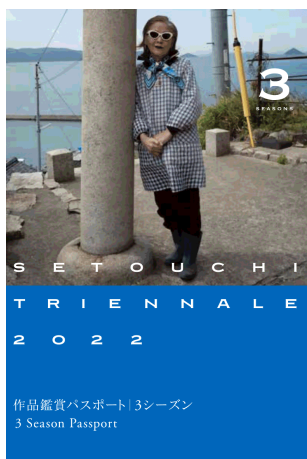
4. メインビジュアル

- 瀬戸内国際芸術祭 2022 のメインビジュアルのテーマは、「島のお年寄り」。初回からメインビジュアルを手掛けているグラフィックデザイナーの原研哉氏（写真:上田義彦氏）が制作し、2021年9月29日に発表した。
- ポスターやチラシなどの印刷物、作品鑑賞パスポート、公式ウェブサイト、公式アプリなどに展開し、芸術祭の魅力を伝える重要なコミュニケーションツールとなった。

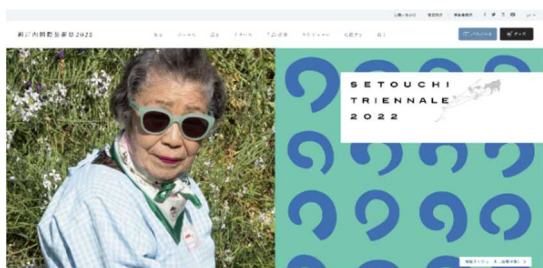
■メインビジュアル（ポスター）



■作品鑑賞パスポート（3シーズン、春、夏、秋）



■公式ウェブサイト



■公式アプリ



5. 重点的な取組み

(1) 瀬戸内の里海・里山の隠れた資源の発掘と発信

- 地域に精通した地元の方々や関係市町の職員等と勉強会や協議を重ねながら、会場毎のアートプロジェクトの方向性等の検討を行った。
- 小豆島の寒霞溪や屋形崎、与島、多度津町本通、屋島など、様々なエリアで地域の自然や歴史、文化等に着目した作品やイベントを展開した。



空の玉／寒霞溪（小豆島 寒霞溪）



はじまりの刻（小豆島 屋形崎）
Photo: Keizo Kioku



月への道（与島）



多度津街中プロジェクト（多度津町本通）
Photo: Keizo Kioku



瀬戸内仕事歌&四国民話オペラ「二人奥方」
（高松港周辺 屋島）
Photo: Shintaro Miyawaki



瀬戸内少女歌劇団（本島）
Photo: Shintaro Miyawaki

(2) 国内・世界とのつながりの継続、より質の高い交流への転換

- アジアを中心とする国や地域でアートによる地域の活性化に取り組む 18 か国・地域から 29 人のアーティスト等が共に集い、学び合い、語り合う「瀬戸内アジアフォーラム 2022」を、2022 年 10 月 13 日から 4 日間にわたり開催した。
（公開フォーラム参加者数：211 名）



瀬戸内アジアフォーラム 2022
Photo: Shintaro Miyawaki

(3) 瀬戸内の魅力を発信していく「食」の充実・強化

- 来場者に島の歴史・風土を感じ、地域の人々とのふれあいを味わってもらえるよう、瀬戸内の魅力ある食材を使用した料理を、高松港、宇野港、豊島、女木島等で展開した。

会場	名称	概要
高松港	高松港食のテラス	瀬戸内の魅力ある食材を使用した弁当や軽食を販売
宇野港	汐まち玉野食プロジェクト たまの塩	EAT &ART TARO 氏の監修のもと、塩に着目した弁当を販売
豊島	島キッチン	豊島でとれた食材を使った料理等
小豆島	葺田の森テラス	福武ハウスで小豆島の美味しい魅力を詰めた弁当2種等を販売
女木島	Café de la Plage	女木島名店街でカフェを展開
大島	カフェ・シヨル	大島産の食材を使用したスイーツ等をテイクアウト形式で提供
高見島	海のテラス	瀬戸内海を一望するレストランで地域食材を使用した料理を提供
伊吹島	うららの伊吹島弁当	島の名産であるイリコをふんだんに使用した弁当を販売



高松港食のテラス



汐まち玉野食プロジェクトたまの塩
Photo: Shintaro Miyawaki



海のテラス (高見島)
Photo: Shintaro Miyawaki

(4) 持続可能な社会の実現に向けた取組みの推進

- 瀬戸内国際芸術祭の取組みを SDGs の観点で整理し、公式ウェブサイトで公表した。
- 協賛企業が各社の SDGs に関する取組みを紹介するページを公式ウェブサイトに掲載 (15 社) したほか、会期中、高松港旅客ターミナルビル 1 階総合案内所横に PR ブースを設置し、週交代で SDGs に関する取組みの紹介 (14 社) を行った。
- 「SETOUCHI 企業フォーラム 2022」を 2022 年 10 月 7 日から 3 日間開催し、作品等を鑑賞するツアー (直島、大島、犬島、高松港)、福武プロデューサーと北川ディレクターの基調講演、企業経営者と有識者のセッション (持続可能な社会における企業の役割について) 等を行った。(参加者: 18 企業 18 名/有識者 4 名)
- 「しましまゴミゼロプロジェクト」と称して、ボランティアによるクリーンアップ活動を実施した。また、夏会期では、高松港食のテラスに無料給水スポットを設置し、マイボトルの携帯や自由な給水呼びかけた。



協賛企業 CSR・SDGs 取組み
紹介 PR ブース



SETOUCHI 企業フォーラム 2022
Photo: Shintaro Miyawaki



しましまゴミゼロプロジェクト
の活動 (女木島)

6. アートプロジェクト・イベント

- 瀬戸内国際芸術祭 2022 には、33 の国と地域から 188 組の作家が参加した。
- 作品数は 213、イベント数は 19 であった。

(1) 作品

直島 | Naoshima

番号	施設名・作品名・プロジェクト名 作家名	春	夏	秋
na01	赤かぼちゃ 草間彌生	○	○	○
na02	海の駅「なおしま」 妹島和世 + 西沢立衛 / SANAA	○	○	○
na03	BUNRAKU PUPPET ジョゼ・デ・ギマランイス	○	○	○
na04	直島バヴァリオン 藤本壮介	○	○	○
na05-B	直島銭湯「I ♥ 湯」 大竹伸朗	○	○	○
na06-B	瀬戸内「 」資料館 下道基行	○	○	○
na07-B	The Naoshima Plan 「水」 三分一博志	○	○	○
na08	直島ホール 三分一博志	○	○	○
na09	直島港ターミナル 妹島和世 + 西沢立衛 / SANAA	○	○	○
na10-B	ANDO MUSEUM 安藤忠雄	○	○	○
na11-B	家プロジェクト「角屋」Sea of Time '98 / Naoshima's Counter Window / Changing Landscape 宮島達男	○	○	○
na12-B	家プロジェクト「護王神社」Appropriate Proportion 杉本博司	○	○	○
na13-B	家プロジェクト「南寺」バックサイド・オブ・ザ・ムーン ジェームズ・タレル	○	○	○
na14-B	家プロジェクト「碁会所」碁会所 須田悦弘	○	○	○
na15-B	家プロジェクト「石橋」ザ・フォールズ / 空 (くう) の庭 千住博	○	○	○
na16-B	家プロジェクト「はいしゃ」 舌上夢 / ポッコン視 大竹伸朗	○	○	○
na17-B	家プロジェクト「きんぎ」このことを 内藤礼	○	○	○
na19-B	ベネッセハウス ミュージアム [建築] 安藤忠雄	○	○	○
na20-B	李禹煥美術館 [アート] 李禹煥 / [建築] 安藤忠雄	○	○	○
na21-B	地中美術館 [建築] 安藤忠雄 / [アート] クロード・モネ、ジェームズ・タレル、ウォルター・デ・マリア	○	○	○
na22	桜の迷宮 安藤忠雄	○	○	○
na23-B	The Naoshima Plan 「住」 三分一博志	○		○
na24-B	ベネッセハウスパーク 杉本博司ギャラリー時の回廊 [アート] 杉本博司 / [建築] 安藤忠雄	○	○	○
na25-B	ヴァレーギャラリー《ナルシスの庭》、《スラグブッダ 88・豊島の産業廃棄物処理後のスラグで作られた 88 体の仏》 [アート] 草間彌生、小沢剛 / [建築] 安藤忠雄	○	○	○

豊島 | Teshima

番号	施設名・作品名・プロジェクト名 作家名	春	夏	秋
te02-B	豊島横尾館 [アート] 横尾忠則 / [建築] 永山祐子	○	○	○
te03-B	針工場 大竹伸朗	○	○	○
te08	空の粒子 / 唐櫃 青木野枝	○	○	○
te09	あなたの最初の色 (私の頭の中の解 <ソリューション> - 私の胃の中の溶液 <ソリューション>) ピピロッティ・リスト	○	○	○
te10	島キッチン [建築] 安部良	○	○	○
te12-B	ささやきの森 クリスチャン・ボルタンスキー	○	○	○
te13-B	豊島美術館 母型 [アート] 内藤礼 / [建築] 西沢立衛	○	○	○
te14	勝者はいない - マルチ・バスケットボール イオベット & ボンズ	○	○	○
te15-B	心臓音のアーカイブ クリスチャン・ボルタンスキー	○	○	○
te18-B	西本喜美子写真展 西本喜美子		○	○
te19	海を夢見る人々の場所 ヘザー・B・スワン + ノンダ・カサリディス	○	○	○
te20	かげたちのみる夢 (Remains of Shadowings) 富安由真		○	○

女木島 | Megijima

番号	施設名・作品名・プロジェクト名 作家名	春	夏	秋
mg01	カモメの駐車場 木村崇人	○	○	○
mg02	20 世紀の回想 禿鷹墳上	○	○	○
mg05	女木島名店街 寿荘 Café de la Plage / カフェ・ドウ・ラ・プラージュ ヴェロニク・ジュマール	○	○	○
mg06	女木島名店街 寿荘 ヘアサロン壽 宮永愛子	○	○	○
mg08	女木島名店街 寿荘 ビンボン・シー 原倫太郎 + 原游	○	○	○
mg09	女木島名店街 寿荘 ランドリー レアンドロ・エルリッヒ	○	○	○
mg11	女木島名店街 寿荘 ティンカー・ベルズ ファクトリー 中里繪魯洲	○	○	○
mg13-B	女根 / めこん 大竹伸朗	○	○	○
mg14	ISLAND THEATRE MEGI 「女木島名画座」 依田洋一朗	○	○	○
mg15-B	不在の存在 レアンドロ・エルリッヒ	○	○	○
mg17	段々の風 杉浦康益	○	○	○
mg19	オニノコ瓦プロジェクト 2 オニノコプロダクション	○	○	○
mg20	女木島名店街 寿荘 ガラス漁具店 柳建太郎	○	○	○
mg21	女木島名店街 寿荘 鬼ヶ島ピカピカセンター 岩沢兄弟	○	○	○
mg22	女木島名店街 寿荘 リサイクルショップ複製遺跡 五所純子	○	○	○
mg23	女木島名店街 瀬戸内カーニバル あきびんご	○	○	○
mg24	女木島名店街 結ぶ家 大川友希	○	○	○
mg25	女木島名店街 MEGI Fab (メギファブ) 三田村光土里	○	○	○
mg26	女木島名店街 こんぼうや 小谷元彦		○	○
mg27	ナビゲーションルーム ニコラ・ダロ		○	○

男木島 | Ogijima

番号	施設名・作品名・プロジェクト名 作家名	春	夏	秋
og01	男木島の魂 ジャウメ・プレンサ	○	○	○
og02	タコツボル TEAM 男気	○	○	○
og03	生成するドローイング - 日本家屋のために 2.0 村山悟郎	○	○	○
og05	男木島 路地壁画プロジェクト wallalley / 漣の家 眞陸陸二	○	○	○
og07	瀬戸で舞う 川島猛とドリームフレンズ	○	○	○
og08	アキノリウム 松本秋則	○	○	○
og14	漆の家 漆の家プロジェクト	○	○	○
og15	部屋の中の部屋 大岩オスカル	○	○	○
og16	歩く方舟 山口啓介	○	○	○
og17	青空を夢見て レジーナ・シルベイラ	○	○	○
og18	男木島パビリオン 大岩オスカル + 坂 茂		○	○
og19	No.105 ワン・テユ [王徳瑜]		○	○
og20	学校の先生 エカテリーナ・ムロムツェワ		○	○

小豆島 | Shodoshima

番号	施設名・作品名・プロジェクト名 作家名	春	夏	秋
sd01	太陽の贈り物 チェ・ジョンファ [崔正化]	○	○	○
sd02	アートノショーターミナル 対極の美 - 無限に続く円 - コシノジュンコ	○	○	○
sd03	再び ... キム・キョンミン [金景賢]	○	○	○
sd04	迷路のまち ~ 変幻自在の路地空間 ~ 目	○	○	○
sd06	猪鹿垣の島 齋藤正人	○	○	○
sd10	三都半島アートプロジェクト 境界線の庭 土井満治	○	○	○
sd11	三都半島アートプロジェクト 自然の目「大地から」 フリオ・ゴヤ	○	○	○
sd16	三都半島アートプロジェクト 潮耳荘 伊東敏光 + 康夏奈 + 広島市立大学芸術学部有志	○	○	○
sd19	三都半島アートプロジェクト 山声洞 伊東敏光 + 広島市立大学芸術学部有志	○	○	○
sd21	石の島の石 中山英之建築設計事務所	○	○	○
sd24	おおきな曲面のある小屋 島田陽	○	○	○
sd25	オリーブのリーゼント 清水久和	○	○	○
sd26	Umaki camp ドットアーキテツ	○	○	○
sd27	ジョルジュ・ギャラリー ジョルジュ・ルース 醬の郷現代美術館	○	○	○

sd30	スター・アンガー ヤノベケンジ	○	○	○
sd31	アンガー・フロム・ザ・ボトム美井戸神社 ビートたけし×ヤノベケンジ	○	○	○
sd32	漁師の夢 入江早耶	○	○	○
sd33	愛のポラード 清水久和	○	○	○
sd34-B	福武ハウス アジアギャラリー 時代の風景・時代の肖像+++ 福武ハウス 葺田の森テラス	○	○	○
sd35	葺田バヴァリオン 西沢立衛	○	○	○
sd38	ダイナマイト・トラヴァース変奏曲 秩父前衛派	○	○	○
sd40	La Danse ソビアップ・ピッチ	○	○	○
sd41	いっしょに/ともだち スタシス・エイドリゲヴィチウス	○	○	○
sd42	立入禁止 土井健史	○	○	○
sd43	はじまりの刻 三宅之功		○	○
sd44	ゼロ ワン・ウェンチー[王文志]		○	○
sd45	三都半島アートプロジェクト ヒトクサヤドカリ 尾身大輔	○	○	○
sd46	三都半島アートプロジェクト ダイダラウルトラボウ 伊東敏光+広島市立大学芸術学部有志	○	○	○
sd47	三都半島アートプロジェクト ポップストップ チャールズ・ウォーゼン	○	○	○
sd48	三都半島アートプロジェクト 舟物語 フリオ・ゴヤ	○	○	○
sd49	三都半島アートプロジェクト Utopia dungeon ~ Command from Utopia ~ 田中圭介	○	○	○
sd50	辿り着く向こう岸 シャン・ヤン[向阳]		○	○
sd51	小豆島ハウスプロジェクト 新建築社+SUNAKI		○	○
sd52-B	福武ハウス 地域紹介展示 福田からのお手紙	○	○	○
sd53-B	福武ハウス アジア・アート・プラットフォーム 2022「Communal Spirits/ 共に在る力」		○	○
sd54	空の玉/寒霞溪 青木野枝	○	○	○
sd55	そこにいた イ・スーキュン[李秀京]	○	○	○

大島 | Oshima

番号	施設名・作品名・プロジェクト名 作家名	春	夏	秋
os01	青空水族館 田島征三	○	○	○
os02	森の小径 田島征三	○	○	○
os03	「Nさんの人生・大島七十年」 - 木製便器の部屋 - 田島征三	○	○	○
os04	稀有の触手 やさしい美術プロジェクト	○	○	○
os05	{つなごりの家} GALLERY15「海のこだま」 やさしい美術プロジェクト	○	○	○
os06	歩みきたりて 山川冬樹	○	○	○
os07	海峡の歌 / Strait Songs 山川冬樹	○	○	○
os08	浜辺の歌、月着陸、壁上り 鴻池朋子 物語るテーブルランナー in 大島青松園 鴻池朋子	○	○	○
os09	{つなごりの家} カフェ・シヨル やさしい美術プロジェクト	○	○	○
os11	リングワンデルング 鴻池朋子	○	○	○
os12	物語る金の豚 鴻池朋子		○	○
os13	声の楔 やさしい美術プロジェクト		○	○

犬島 | Inujima

番号	施設名・作品名・プロジェクト名 作家名	春	夏	秋
in01-B	犬島「家プロジェクト」F邸 Biota(Fauna/Flora) [アーティスティックディレクター]長谷川祐子/ [建築]妹島和世 / [アート] 名和晃平	○	○	○
in02-B	犬島「家プロジェクト」S邸 コンタクトレンズ [アーティスティックディレクター]長谷川祐子/ [建築]妹島和世 / [アート] 荒神明香	○	○	○
in03-B	犬島「家プロジェクト」A邸 Yellow Flower Dream [アーティスティックディレクター]長谷川祐子/ [建築]妹島和世 / [アート] ベアトリス・ミリャーゼス	○	○	○
in04-B	犬島「家プロジェクト」C邸 無題 (C邸の花) [アーティスティックディレクター]長谷川祐子/ [建築]妹島和世 / [アート] 半田真規	○	○	○
in05-B	犬島「家プロジェクト」I邸 Self-loop [アーティスティックディレクター]長谷川祐子/[建築]妹島和世/ [アート] オラファー・エリアソン	○	○	○
in06-B	犬島「家プロジェクト」石職人の家跡 太古の声を聴くように、昨日の声を聴く/sprouting 01 [アーティスティックディレクター]長谷川祐子/[建築]妹島和世 / [アート] 浅井裕介	○	○	○
in07-B	犬島精錬所美術館 [アート] 柳幸典 / [建築] 三分一博志	○	○	○
in08-B	中の谷東屋 妹島和世	○	○	○

in09-B	犬島 暮らしの植物園 妹島和世+明るい部屋	○	○	○
in10-B	INUJIMA アートランデブー 大宮エリー	○	○	○

沙弥島 | Shamijima

番号	施設名・作品名・プロジェクト名 作家名	春	夏	秋
sm01	階層・地層・層 ターニャ・プレミンガー	○		
sm10	八人九脚 藤本修三	○		
sm11	幻海をのぞく 南条嘉毅	○		
sm12	月への道 レオニート・チシコフ	○		

本島 | Honjima

番号	施設名・作品名・プロジェクト名 作家名	春	夏	秋
ho01	Vertrek「出航」 石井章			○
ho05	漆喰・鏝絵かんぱんプロジェクト 村尾かずこ			○
ho06	咸臨の家 眞壁陸二			○
ho08	産屋から、殯屋から 古郡弘			○
ho09	善根湯×版築プロジェクト 齊藤正×続・塩飽大工衆			○
ho10	Moony Tunes ツェ・スーメイ			○
ho12	レポリューション/ワールドライズ アリシア・クヴァーデ			○
ho13	水の下空 アレクサンドル・ポノマリョフ			○
ho14	無二の視点から 藤原史江			○
ho15	SETOUCHI STONE LAB 川島大幸			○
ho16	石が視力を失っていないように、盲人も視力を失っていない。 アリン・ルンジャン			○
ho17	遠くからの音 DDMY STUDIO			○
ho18	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 企画展・常設展			○

高見島 | Takamijima

番号	施設名・作品名・プロジェクト名 作家名	春	夏	秋
ta02	時のふる家 中島伽耶子			○
ta05	まなうらの景色 2022 村田のぞみ			○
ta07	過日の同居 2022 藤野裕美子			○
ta08	うつりかわりの家 中島伽耶子			○
ta10	はなのこえ・こころのいろ 小枝繁昭			○
ta11	海のテラス 野村正人			○
ta13	～melting dream～/高見島パフェ 名もなき女性(ひと)達にささぐ... 西山美なコ			○
ta14	The Waiting Point Eri Hayashi			○
ta15	かたちづくられるもの 鈴木健太郎			○
ta16	高見島の木 竹腰耕平			○
ta17	通りぬけた家 鐵羅佑			○
ta18	Merry Gates 内田晴之			○
ta19	Re:mind 山下茜里			○
ta20	FLOW ケンデル・ギール			○
ta21	多度津街中プロジェクト Nocturne (Tadotsu) 山田悠 多度津街中プロジェクト 海と路/一太郎やあい 尾花賢一 多度津街中プロジェクト 合田邸での企画展「多度津町—海陸交通の発展・近代化を支えた商人たち」			○

栗島 | Awashima

番号	施設名・作品名・プロジェクト名 作家名	春	夏	秋
aw01	瀬戸内海底探査船美術館プロジェクト 《一昨日丸》、《ソコソコ想像所》、《Re-ing-A》 日比野克彦			○
aw03	TARA			○
aw04	栗島芸術家村 佐藤悠、森ナナ			○
aw06	思考の輪郭 エステル・ストッカー			○
aw07	過ぎ去った子供達の歌 ムニール・ファトゥミ			○
aw10	須田港待合所プロジェクト「みなとのロープハウス」 山田紗子			○
aw11	種は船 TARA JAMBIO アートプロジェクト 日比野克彦			○

aw12	スティールライフ マッシモ・バルトリーニ			○
aw13	「い・ま・こ・こ」 アデル・アブデスメッド			○

伊吹島 | Ibukijima

番号	施設名・作品名・プロジェクト名 作家名	春	夏	秋
ib01	トイレの家 石井大五			○
ib03	イリコ庵 みかんぐみ+明治大学学生			○
ib05	伊吹の樹 栗林隆			○
ib06	パサング メラ・ヤルスマ+ニンディティヨ・アディプルノモ			○
ib08	ものがみる夢 アレクサンドラ・コヴァレヴァ&佐藤敬/KASA			○
ib09	つながる海 ゲゲルポヨ			○
ib10	浜辺の歌 マナル・アルドワイヤン			○

高松港周辺 | Takamatsu Port

番号	施設名・作品名・プロジェクト名 作家名	春	夏	秋
tk01	Liminal Air -core- 大巻伸嗣	○	○	○
tk03	「銀行家、看護師、探偵、弁護士」 ジュリアン・オビー	○	○	○
tk04	待つ人/内海さん 本間純	○	○	○
tk13	香川県立ミュージアム 企画展	○	○	○
tk14	高松市美術館 特別展「みる誕生 鴻池朋子展」		○	
tk15	Suitcase in a Bottle ラム・カツィール	○	○	○
tk18	Watch Tower ジョン・クルメリング	○	○	○
tk19	ウェルカム/ファニーブルー ヴェロニク・ジュマール	○	○	○
tk20	四国村ミュージアムエントランス棟「おやねさん」 [建築]川添善行	○	○	○
tk21	装う神さま 本山ひろ子	○	○	○
tk22	高松市屋島山上交流拠点施設(愛称:やしまーる) [建築]周防貴之		○	○
tk23	屋島での夜の夢 保科豊巳			○
tk24	プロジェクト「同じ月を見た日」 《月はまた昇る》、《ここに居ない人の灯り》、《ドキュメント - 同じ月を見た日》 渡辺篤 (アイム ヒア プロジェクト)		○	○
tk25	PAPER SEA Asaki Oda	○	○	○
tk26	瀬戸内海歴史民俗資料館 常設展	○	○	○

宇野港周辺 | Uno Port

番号	施設名・作品名・プロジェクト名 作家名	春	夏	秋
un02	舟底の記憶 小沢敦志	○	○	○
un03	終点の先へ 小沢敦志	○	○	○
un04	宇野のチヌ/宇野コチヌ 淀川テクニック	○	○	○
un05	JR 宇野みなと線アートプロジェクト エステル・ストッカー	○	○	○
un08	海の記憶 内田晴之	○	○	○
un10	実話に基づく ムニール・ファトゥミ	○	○	○
un11	時間屋 長谷川仁	○	○	○
un12	赤い家は通信を求む 片岡純也+岩竹理恵	○	○	○
un13	本州から見た四国 アイシャ・エルクメン		○	
un14	S.F. (Seaside Friction) 金氏徹平		○	○

広域・回遊 | Island Hopping

番号	施設名・作品名・プロジェクト名 作家名	春	夏	秋
T01	フラワー ジョゼ・デ・ギマランイス	○	○	○
T02	ハッピーズネーク ジョゼ・デ・ギマランイス	○	○	○
-	パフォーマンス映像作品《大島_男木島 Inter-Island Timescapes》 山川冬樹、村山悟郎			○

(2) イベント

直島 | Naoshima

番号	イベント名 作家名	開催日	来場者数
E01	麗春の舞 直島女文楽	4/23	159
E02	直島建築ツアー	4/18・24、5/16、10/3・19・24	48
E03	近代化の歴史にふれる 一直島・犬島の鍛煉瓦を訪ねて	4/16、5/11	7
E04	護王神社遷座 20 周年記念「杉本雅楽 直島御神楽」 杉本博司	10/9 ※2 回公演	264

豊島 | Teshima

番号	イベント名 作家名	開催日	来場者数
E06	島のお誕生会	4/17、5/8、8/7、10/10、11/3	229
E11	反復かつ連続 ままごと	11/5 ※2 回公演	137

女木島 | Megijima

番号	イベント名 作家名	開催日	来場者数
E07	女木島名画座上映会	5/7、8/27、10/22	67

男木島 | Ogijima

番号	イベント名 作家名	開催日	来場者数
E08	Come and Go ひびのこづえ	10/8・9・10・15・16 ※10/9・15 は 2 回公演	645

小豆島 | Shodoshima

番号	イベント名 作家名	開催日	来場者数
E09	竜宮鱗屑譚 (せとうちうろくずものがたり) ~GYOTS~ 木ノ下歌舞伎	5/14・15	459
E10	茸田夜祭 川村亘平斎、石田多朗	9/4	150
E11	あゆみ (短編) ままごと	11/3 ※2 回公演	221

大島 | Oshima

番号	イベント名 作家名	開催日	来場者数
E12	学ぶ! 楽しむ! オータムスクール	10/15・16	8

沙弥島 | Shamijima

番号	イベント名 作家名	開催日	来場者数
E14	オーチャード王越 GREEN SPACE	10/22	40
E15	万葉茶会と講演~香を楽しむ~ 市民煎茶グループ曙	4/17	417

本島 | Honjima

番号	イベント名 作家名	開催日	来場者数
E16	瀬戸内物語一塩飽編 瀬戸内少女歌劇団	10/22・23・29・30 ※10/23・30 は 2 回公演	223

高見島 | Takamijima

番号	イベント名 作家名	開催日	来場者数
E17	瀬戸内土のレストラン バシライ	10/9 ※2 回実施	21
E18	身体と物体を超えて ネオン・ダンス	11/3~5	91

伊吹島 | Ibukijima

番号	イベント名 作家名	開催日	来場者数
E19	よるしるべ 2022 「まるみデパート」、榎黄州、斎藤幹男	10/28~30、11/3~5	3,630

高松港周辺 | Takamatsu Port

番号	イベント名 作家名	開催日	来場者数
E08	MAMMOTH ひびのこづえ×藤村港平×川瀬浩介 ひびのこづえ	8/11・12	380
E20	瀬戸内仕事歌&四国民話オペラ「二人奥方」 香川大学×瀬戸内の伝統生活文化・芸術発信プロジェクトチーム	5/15 ※2 回公演	411

広域・回遊 | Island Hopping

番号	イベント名 作家名	開催日	来場者数
E21	せつぷくびすとるず瀬戸内神出鬼没 切腹ピストルズ	4/16・17 ※4/16 は 4 回、4/17 は 5 回公演	510

7. 新型コロナウイルス感染症対策

- 2022年3月に、瀬戸内国際芸術祭実行委員会の本部会議を開催し、「瀬戸内国際芸術祭 2022 新型コロナウイルス感染症対策の指針」を策定した。

《指針の概要》

(1) 基本的な感染対策

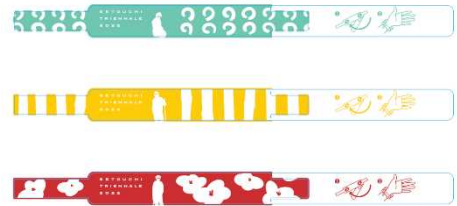
- ・ 飛沫の抑制：マスク着用、咳エチケット実践
- ・ 手洗い、消毒：出入口等への消毒液設置、施設内消毒
- ・ 換気の徹底：空調設備による常時換気、こまめな換気
- ・ 密集の回避：入退場時の密集回避（時間差入退場等）、身体的距離の確保
- ・ 飲食の制限：飲食用エリア以外での飲食の自粛、飲食中以外のマスク着用
- ・ 来場者の制限等：検温及び体調確認、有症状者の入場のお断り
- ・ スタッフの対策等：準備段階からの感染対策及び健康管理

(2) イベント開催時の対策

- ・ 出演者の対策等：感染対策及び健康管理、出演者等と観客との接触の回避
- ・ 参加者の把握：チケット購入時等

(3) 検温及び体調確認

本土側の港や島内で来場者の検温及び体調確認を行い、発熱等の症状がない場合は、検温等済であることを証する、当日限り有効のリストバンド（デザインは右のとおり）を配布した（症状がある場合は、作品等の鑑賞をお断り）。



(4) 島での有症状者の発生時の対応等

① 救護スペースの確保

各島で有症状者が他の来場者から離れて休憩等ができるスペースを確保した。

② 医療従事者への相談体制

オンライン等で有症状者とのやり取りや現地のスタッフへの指示等を行えるよう、実行委員会本部に看護師1名を常時配置した。

③ 密にならない状態での本土側への移動

チャーター船の活用も含め、密にならない状態で本土側に移動できるよう対策を講じた。

- 会期中は、指針に沿って、飛沫の抑制や手洗い・消毒、換気など基本的な対策はもとより、検温及び体調確認、有症状者の発生時の対応など、島毎の実情に応じた対策を適切に行った（会期中に、会場の島での芸術祭関係のクラスターは確認されなかった）。
- 協賛企業から、検査・検診用ゴム手袋、体温スクリーニングシステム、アルコール除菌シート等を提供いただき安全安心な開催に協力いただいた。
- なお、夏会期には、熱中症対策も兼ねた加湿・通気対策として、高松港、宇野港及び唐櫃港にミストファンを設置した。

8. 交通の整備

(1) 海上交通

- 芸術祭の開催にあわせて、来場者の交通アクセスの向上を図るため、会場の島を結ぶ6つの臨時航路を各航路事業者により開設し、既存の7定期航路でダイヤ増便を行った。また、一部航路では旅客定員の拡大や状況に応じた臨時便運航を行った。

《会期中臨時航路》

- ・ 小豆島（土庄）⇔直島（宮浦） 2便/日
- ・ 小豆島（土庄）⇔犬島 3便/日
- ・ 小豆島（坂手）⇔土庄東⇔直島（本村）⇔男木島 1便/日（土日祝及びお盆等のみ）
- ・ 男木島⇔大島 2便/日（土日祝及びお盆等のみ）
- ・ 京橋⇔犬島⇔豊島（唐櫃） 1便/日（犬島⇔豊島（唐櫃）は2便/日）
- ・ 本島⇔高見島⇔粟島<秋会期> 平日5便/日、土日祝9便/日

《既存定期航路のダイヤ増便》

- ・ 高松⇔直島（宮浦）
- ・ 高松⇔直島（本村）⇔豊島（家浦）
- ・ 宇野⇔豊島（家浦）⇔豊島（唐櫃）⇔土庄（小豆島）
- ・ 丸亀⇔本島<秋会期>
- ・ 児島⇔本島<秋会期>
- ・ 多度津⇔高見島<秋会期>
- ・ 観音寺⇔伊吹島<秋会期>

(2) 島内交通

- 島内での来場者の移動手段の確保と住民生活への影響の緩和の観点から、港と作品展示場所とを結ぶバス路線を各事業者により新設した（直島1路線、豊島2路線、小豆島2路線、本島1路線）。

(3) 本土側の港付近

- 各島への起点となる港までの公共交通機関が少ないところでは、関係団体等により、最寄りの駅・臨時駐車場からのシャトルバスを運行した。
- 各島への起点となる港付近に、関係団体等により臨時駐車場を開設した。
 - ・ 作品鑑賞パスポート購入者専用無料駐車場（高松港 約100台）
 - ・ その他臨時無料駐車場（沙弥島 約430台、丸亀港 約130台、多度津港 約280台、須田港 約350台、観音寺港 約200台、児島港 約38台）

9. 来場者対応

(1) 案内所の運営

- 開幕前の2022年2月から閉幕まで、実行委員会事務局内に案内所本部を設置し、多言語対応のコールセンターとして、電話やメールによる様々な問い合わせに対応した。
- 会期中は、各会場の港などに計26か所の案内所を設け、作品やイベント、交通に関する案内、作品鑑賞パスポートや公式グッズの販売などを行った。最も多くの来場者が訪れる高松港の案内所を「瀬戸内国際芸術祭総合案内所」とし、対応を強化した。
- 各港周辺では、案内スタッフや警備員が乗り場案内や乗船整列を行った。
- 案内所には、救急セットや熱中症対策用具を配備して、緊急の場合に対応したほか、無料貸出用の車いすを配備した。
- すべての案内所に加え、主要な作品、主要な航路の船内にも無料Wi-Fiスポットを整備した。



案内所本部



瀬戸内国際芸術祭総合案内所



会場における案内の様子

(2) 公式ウェブサイト、公式アプリケーションの活用

- 経路検索機能を備えたスマートフォン用公式アプリケーションを無料公開し、来場者の周遊をサポートした。(ダウンロード数：iOS版28,219件、Android版9,206件)
- 来場者があらかじめ作品・施設の休館や混雑状況、船の欠航などを知ることができるよう、公式ウェブサイトと公式アプリケーションを活用してリアルタイムに情報提供を行った。
- 会期中の混雑予想カレンダーやモデルコースを公式ウェブサイトに掲載し、来場者の分散化を図った。



(3) フェリー6航路限定3日間乗り放題乗船券

- 来場者の利便性の向上や乗船窓口付近での混雑緩和を図るため、関係旅客船事業者の協力により、東側会場エリアの「フェリー6航路限定3日間乗り放題乗船券」を販売した。
(販売枚数：7,848枚)

(4) 熱中症対策

- 来場者が暑さへの備えを行い来場できるよう、公式ウェブサイトにて注意喚起を行った。
- 高松港等でのミストファンの設置に加え、待ち時間が長くなりやすい港、バス停、作品受付の一部にて日傘の貸し出しを行った。
- 熱中症の疑いがある方に適切に対応できるよう、対策用品や休憩場所を準備し、案内スタッフへ事前研修を実施した。

10. オフィシャルツアー、カスタマイズツアー

(1) オフィシャルツアー

チャーター船やチャーターバス等を利用し、芸術祭の新規作品を中心に作品を鑑賞する 11 コースのツアーを実施した。また、香川県発着に加え、岡山県発着のコースを新設した。

この他、公式イベントに参加するツアーやテーマ別のスペシャルツアーを 12 回実施した。

【ツアーコース】

コース名	対象会場	料金（1人当たり）
【香川県発着】		
Aコース	豊島・犬島	15,800円
Bコース	大島・女木島・男木島	12,800円
Cコース	小豆島	12,800円～13,800円
Dコース	沙弥島	8,900円
Eコース（秋会期のみ）	本島・高見島	16,300円
Fコース（秋会期のみ）	粟島・伊吹島	16,800円
Yコース（秋会期のみ）	屋島	3,000円
【岡山県発着】		
Gコース	豊島・犬島	16,000円
Hコース	女木島・男木島・宇野港	13,000円
Iコース	本島・高見島	13,000円
Jコース	小豆島	12,000～13,000円

※ 催行するコースは曜日によって異なる。

【参加者数】

会期	香川発着				岡山発着				合計			
	本数	定員	参加者	参加率	本数	定員	参加者	参加率	本数	定員	参加者	参加率
春	37本	1,269人	735人	58%	13本	406人	213人	52%	50本	1,675人	948人	57%
夏	24本	813人	572人	70%	16本	455人	222人	49%	40本	1,268人	794人	63%
秋	56本	2,059人	1,490人	72%	21本	672人	323人	48%	77本	2,731人	1,813人	66%
合計	117本	4,141人	2,797人	68%	50本	1,533人	758人	49%	167本	5,674人	3,555人	63%

※ 天候不良等のため、春会期は 5 本、秋会期は 10 本のツアーが催行中止となった。

- 男女別では、女性が 72.9%、男性が 27.1%であった。
- 50 代の参加者が 23.1%で一番多く、次いで 60 代の参加者が 20.5%で多かった。
- 都道府県別では、香川県からの参加者が 28.0%、東京都からの参加者が 18.6%、次いで岡山県からの参加者が 12.6%であった。
- オフィシャルツアーの評価として、参加者の 96.7%が「満足」「やや満足」と評価した。
- 参加者の 93.3%が、「オフィシャルツアーを家族や知人におすすめする」と回答した。
- スペシャルツアーは 12 回実施、225 名の参加があった。

(2) カスタマイズツアー

特定非営利活動法人瀬戸内こえびネットワークが主体となり、旅行者の希望に応じた旅の企画、手配、ガイドを行うカスタマイズツアーを 78 回実施し、延べ 1,600 人が参加した。ツアーの参加目的は、観光が 44%、視察・研修が 44%であった。

11. ボランティアサポーターの活動

- アーティストと地域を繋ぎ、作品と来場者を結ぶ役割を果たす瀬戸内国際芸術祭のサポーターには、「こえび隊」と「企業・団体ボランティアサポーター」がある。国内外の個人が参加する前者が中心となりながら、香川県・岡山県内の企業を中心とした団体が参加する後者にも多くの人が携わり、参加者の総数は延べ5,417人となった。
- コロナ禍での開催となったが、地元を中心とした高校生を含むボランティアサポーターが積極的に芸術祭に関わる姿も見られた。

【瀬戸内国際芸術祭 2022 ボランティアサポーター参加実績】

(参加人数は延べ数)

参加数	内訳			
	春	夏	秋	
こえび隊				
総数	3,842 人	1,238 人	1,351 人	1,253 人
作品制作	1,135 人	336 人	546 人	253 人
作品受付	2,442 人	812 人	761 人	869 人
各種ガイド	101 人	21 人	29 人	51 人
イベント運営	164 人	69 人	15 人	80 人
企業・団体サポーター				
総数(社/団体数)	52 社/団体	10 社/団体	16 社/団体	45 社/団体
総数(参加者数)	1,575 人	250 人	463 人	862 人
サポーター総数	5,417 人			



朝礼の様子（高松港）Photo: Shintaro Miyawaki



作品制作の様子（宇野港）Photo: Shintaro Miyawaki

《こえび隊》

- 2021年冬から始まった作品制作、会期中の作品受付やイベント運営補助、閉幕後の作品撤去に、延べ3,842人が参加した。
- 芸術祭の趣旨やこえび隊の活動内容について説明し、新たな参加者を募る「こえびミーティング」について、オンラインを活用しながら4回開催したほか、春会期前には東京で、夏会期前には大阪で、秋会期前には丸亀市、多度津町、三豊市、観音寺市の4か所で説明会を実施した。

《企業・団体ボランティアサポーター》

- 地域貢献や社員教育などの観点から、企業や学校を中心として、52社・団体、延べ1,575人が、作品受付などの活動を行った。
- 香川県内の参加は、県内に本社・本部を置く企業・団体が28、中学・高等学校・高等専門学校・大学が9であった。
- 参加者からは「ボランティア、来場者、作家や住民との世代や職種を超えた交流ができ刺激になった。」「これまで客として来ていたが、今回は運営側に参加したことで、作品をより一層理解することができ、愛着もわいた。」などの声が聞かれた。

参加団体一覧（参加延べ人数順）

高松大学・高松短期大学 | 香川県職員退職者会 | 国立大学法人香川大学 | 株式会社香川銀行 |
株式会社百十四銀行 | 学校法人穴吹学園せとうち観光専門職短期大学 |
四国電力株式会社 | 四国電力送配電株式会社 | 四国計測工業株式会社 | 観音寺ボランティア連絡協議会 |
日本郵便株式会社 | 観音寺信用金庫 | 株式会社ベネッセホールディングス | 海ほたる隊 |
岡山県立岡山東商業高等学校 | 高松信用金庫 | 三豊広域行政組合 | 株式会社IHI |
株式会社東芝四国支社 | 四国化成ホールディングス株式会社 | 香川高等専門学校 |
社会福祉法人多度津町社会福祉協議会 | 西日本電信電話株式会社香川支店 |
株式会社北四国グラビア印刷 | 株式会社ジップ | 第一生命保険株式会社東四国支社 |
大手前丸亀中学・高等学校 | 香川県立高瀬高等学校 | ライフデザイン・カバヤ株式会社 |
大阪産業大学校友会香川県支部 | 香川県立観音寺第一高等学校 | 穴吹エンタープライズ株式会社 |
高松帝酸株式会社 | 多度津町議会 | 三菱電機株式会社四国支社 | 西讃観光株式会社 |
四変テック株式会社 | 三菱重工業株式会社四国支社 |
社会福祉法人多度津福祉会特別養護老人ホーム桃陵苑 | 観音寺市職員有志・元職員有志 |
公益社団法人多度津町シルバー人材センター | マックスバリュ西日本株式会社 | 金剛禅総本山少林寺 |
株式会社イトーキ | 観音寺市消費者友の会 | 香川県立観音寺総合高等学校 | 大倉工業株式会社 |
香川西高等学校 | 一般社団法人少林寺拳法連盟 | 合田邸ファンクラブ | 高松空港株式会社 ほか1団体

12. 広報

(1) プロモーション活動

- 香川県・岡山県内や首都圏などを中心に活動を行った。コロナ禍での開催となり、海外からの来場が見込めなかったことから、国内（特に中国地方・四国地方）での活動に注力した。
- PR イベントについては、商業施設等と共同して、新規のツール（VR ゴーグル等）も活用しながら積極的に取り組んだ。
- 北川総合ディレクターが、地方創生フォーラム in 香川や中国・四国地区高等学校長教育研究協議会香川大会等で講演会を行った。

■国内

日程	地域	場所	名称等	内容
2021/9/29	香川県	サンポートホール高松 第2小ホール	メインビジュアル発表会	公式ポスター発表会（原研哉氏講演）
2021/11/9	東京都	日本橋ホール ホール1+2	瀬戸内国際芸術祭 2022 企画発表会	企画概要発表（作品、作家、作品鑑賞パスポート、オフィシャルツアー、コロナ対策等）
2022/2/2-20 2022/8/19-24 2022/8/30-9/4	岡山県	玉野市立図書館ギャラリー	PR 連携	PR ブース設置、パネル展示、宇野浩作品写真展示、チラシ設置、横断幕・のぼり設置
2022/3/3-30	東京都	Have a Nice Tokyo! Marunouchi Happ. Stand & Gallery	Re Travel 旅する自分を想像しよう	アート作品展示、バーチャルツアー、チラシ設置
2022/3/21	香川県	観音寺市総合コミュニティセンター	第8回観音寺・伊吹いりこマルシェ	PR ブース設置、チラシ設置、伊吹島作品写真展示
2022/3/26-5/8 2022/7/1-11/6	香川県	イオンモール高松	フォトスポットキャンペーン	PR ブース設置、パネル展示、チラシ設置、PR 動画
2022/3/26-5/8 2022/7/1-11/6	香川県	イオンモール綾川	フォトスポットキャンペーン	PR ブース設置、パネル展示、チラシ設置、PR 動画
2022/4/上旬-11/上旬	香川県	香川県内ユニクロ店舗	販促物制作	チラシ設置、会場島民紹介
2022/4/5	東京都	渋谷ヒカリエ 8階 8/COURT	瀬戸内国際芸術祭 2022 開幕直前発表会	企画概要発表（作品、作家、作品鑑賞パスポート、オフィシャルツアー、コロナ対策等）
2022/4/6-12 2022/7/20-26 2022/9/14-20	岡山県	岡山天満屋	瀬戸内国際芸術祭 2022～島を感じる旅～	PR イベント、ワークショップ、トークイベント、PR ブース設置、パネル展示、チラシ設置、PR 動画、作品鑑賞パスポート販売、公式ガイドブック販売
2022/4/14-5/18 2022/8/5-9/4 2022/9/29-11/6	広島県	広島蔦屋書店	芸術祭 PR コーナー	PR ブース設置、作品説明パネル展示、公式ガイドブック販売、蔦屋書店 HP 特集掲載
2022/4/16	香川県	直島ホール	安藤忠雄講演会「芸術の力」	安藤忠雄特別講演会、ギャラリートーク
2022/5/9-13	香川県	かがわ長寿大学	講義	講義「瀬戸内国際芸術祭とは」
2022/5/21	大阪府	大阪香川県人会	講義	講演「瀬戸内国際芸術祭 2022 について」
2022/5/31	香川県	高松いきいき大学	講義	講演「瀬戸内国際芸術祭 2022 について」
2022/6/12	東京都	東京交通会館 12階	香川県移住フェア in 東京	セミナー
2022/6/13	大阪府	β本町橋 2階	講演	講演「水辺×アート ～瀬戸内国際芸術祭の取組み」
2022/6/25-26	大阪府	JR 大阪駅「アトリウム広場」	岡山DESTINATIONキャンペーン in 大阪	PR イベント、パネル展示、チラシ配布、ノベルティグッズ配布
2022/7/2	岡山県	イオンモール倉敷	日本の旬おもてなし国“四国”心つなぐ旅	PR イベント、PR ブース設置

2022/7/12-11/6	愛媛県	イオンモール今治新都市	フォトスポットキャンペーン	PR ブース設置、パネル展示、チラシ設置
2022/7/12-11/6	愛媛県	イオンモール新居浜	フォトスポットキャンペーン	PR ブース設置、パネル展示、チラシ設置
2022/7/16-18	広島県 岡山県	小谷 SA、福山 SA、吉備 SA	瀬戸内国際芸術祭 2022 魅力発見 クイズスタンプラリー	PR イベント、パネル展示、チラシ設置、PR 動画、作品鑑賞パスポート販売
2022/7/17-18	東京都	JR 有楽町駅前広場	岡山デスティネーションキャンペーン in 東京	PR イベント、パネル展示、チラシ配布、公式グッズ販売、公式ガイドブック販売
2022/7/18	大阪府	難波御堂筋ホール 10 階	香川県移住フェア in 大阪	セミナー
2022/7/23-10/11	兵庫県	イオンモール姫路大津	フォトスポットキャンペーン	PR ブース設置、パネル展示、チラシ設置
2022/7/25-11/4	香川県	イオンモール高松	イオンモールアプリ	ノベルティグッズ配布
2022/7/25-11/4	香川県	イオンモール綾川	イオンモールアプリ	ノベルティグッズ配布
2022/7/28-8/8 2022/9/22-9/30	東京都	三井住友銀行東館アースガーデン	PR ブース	大型吊り下げバナー設置、PR ブース設置、パネル展示、チラシ設置
2022/7/29	大阪府	大阪工業大学梅田キャンパス 3 階「常翔ホール」	関西プレスクラブ 特別講演会	北川フラム講演会、チラシ配布、作品鑑賞パスポート販売、公式ガイドブック販売
2022/7/30	東京都	新宿駅西口広場	Tokyo Tokyo 全国物産展 JAPAN SELECT 2022	PR イベント、チラシ配布、ノベルティグッズ配布
2022/8/5	愛媛県	イオンモール新居浜	バーチャルツアー(粟島、伊吹島)	PR イベント、PR ブース設置、PR 動画
2022/8/5-11/6	四国地方	四国内 SA・PA	SA・PA での PR 連携	ポスター掲出、のぼり設置、ノベルティグッズ配布
2022/8/11-9/30	岡山県	イオンモール倉敷	フォトスポットキャンペーン	PR ブース設置、パネル展示、チラシ設置
2022/8/17-9/27	広島県	イオンモール広島府中	フォトスポットキャンペーン	PR ブース設置、パネル展示、チラシ設置
2022/8/19-21	東京都	TOKYO TORCH 常盤橋タワー前広場	東京常盤橋 (Tokyo Torch) 1 周年まつり	PR イベント、パネル展示、チラシ設置、公式グッズ販売、公式ガイドブック販売
2022/8/28	香川県	ゆめタウン丸亀	日本の旬“四国” 最終追い込み作戦	PR イベント、PR ブース設置
2022/9/17-18	石川県	JR 金沢駅構内	香川県観光 PR	チラシ配布、ノベルティグッズ配布
2022/9/20	香川県	古高松コミュニティセンター	県政出前講座	講演「瀬戸内国際芸術祭 2022」
2022/9/23-24	香川県	イオンモール高松	瀬戸内国際芸術祭 2022 秋の魅力大発見!	PR イベント、ワークショップ、PR ブース設置、PR 動画
2022/9/24-25	東京都	東京ビックサイト	ツーリズム EXPO ジャパン 2022	PR ブース設置、チラシ配布、公式グッズ販売、公式ガイドブック販売
2022/9/27-10/30	兵庫県	神戸ハーバーランド umie	フォトスポットキャンペーン	PR ブース設置、パネル展示、チラシ設置
2022/10/6-10	鹿児島県	鹿児島県霧島市牧園町	和牛フェス in かがしま 2022	PR ブース設置、パネル展示、チラシ設置
2022/10/8-10	広島県 岡山県 愛媛県	小谷 SA、吉備 SA、石鎚山 SA	瀬戸内国際芸術祭 2022 脱出なぞ解きラリー	PR イベント、パネル展示、チラシ設置
2022/10/8-10 2022/10/15-16 2022/10/22-23	香川県	高松港イベント広場	「Letter From 瀬戸内」	ポストカード運営
2022/10/15-16	岡山県	イオンモール岡山	アートを楽しもう! まなびのアートで SDGs カラフル WS	PR ブース設置、パネル展示、チラシ設置
2022/10/22-23	香川県	高松盆栽の郷	高松盆栽の郷フェスタ 2022	PR ブース設置、パネル展示、チラシ設置
2022/10/30	広島県	イオンモール広島府中	瀬戸内国際芸術祭 2022 秋を楽しむアートイベント	PR イベント、ワークショップ、PR ブース設置、PR 動画

■国外

日程	国/地域	名称等	内容
2021/10/13-17	韓国	韓国国際アートフェア KIAF SEOUL 2021	瀬戸内アートイベント
2021/11/5-8	台湾	2021 台北国際旅行博	瀬戸内アートイベント
2021/12/8	中国	高松港、直島 LIVE 配信	アリババジャパン・フリギーと連携した LIVE 動画配信
2022/2/15-28	台湾	2022 台湾ランタンフェスティバル	瀬戸内アートイベント
2022/7/8-9	台湾	台湾インフルエンサー「林氏璧」氏による 情報発信	直島、小豆島情報発信
2022/7/中旬	フランス	パリ日本文化会館シンポジウム	瀬戸内アートイベント
2022/8/18-21	香港	香港国際旅行展 (ITE2022)	瀬戸内アートイベント
2022/8/25	中国	男木島 LIVE 配信	上海春秋旅行社と連携した LIVE 動画配信
2022/9/14	フランス	パリ日本文化会館上映会	瀬戸内アートイベント
2022/9/16	フランス	パリ日本文化会館 PR ブース	瀬戸内アート展示
2022/11/2	中国	中国インフルエンサーFAM ツアー	岡山県・高知県・JR 四国と連携した LIVE 配信・SNS 情報発信



メインビジュアル発表会 (香川県)



企画発表会 (東京都)



開幕直前発表会 (東京都)



イオンモール高松での PR イベント



岡山天満屋での PR イベント



東京常盤橋(Tokyo Torch) 1周年
まつりでの PR イベント

(2) 広報制作物

- グラフィックデザイナー原研哉氏がデザインを手掛けたポスターやリーフレット等の印刷物、のぼりや横断幕等の広告物、公式ピンバッジ等のノベルティグッズを制作した。
- ポスターについては、前回に引き続き県内外の美術館や大学、商業施設、交通事業者に配布を行った。また、新たに香川県内の県立・私立高校や四国・岡山県内のコンビニエンスストア、岡山県内の行政機関に配布・掲出を依頼した。
- 新たにデジタルサイネージの制作を行い、高松空港・民間鉄道会社などの交通機関、丸の内商業ビル内などの民間商業施設で配信を行った。



のぼり



横断幕



デジタルサイネージ

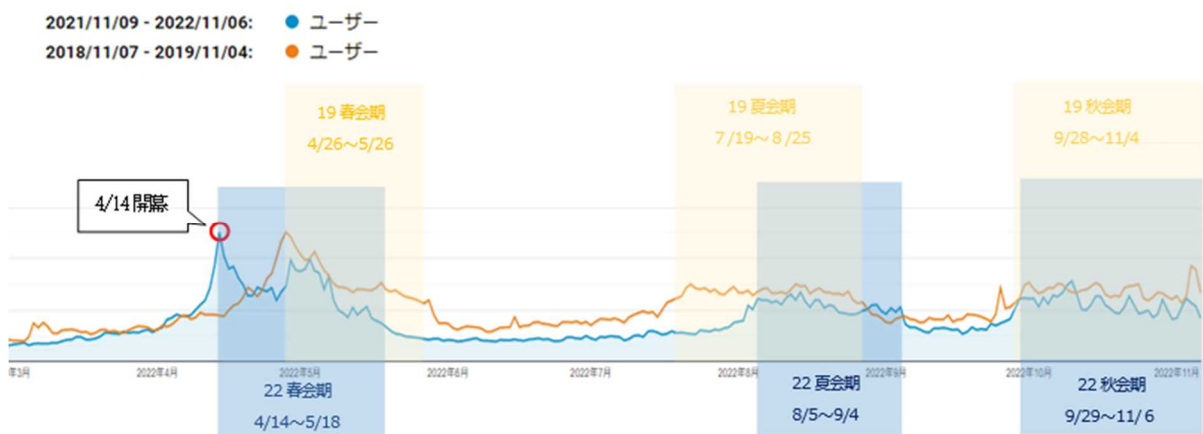
(3) オウンドメディア（ウェブメディア）

① 公式ウェブサイト

- 公式ウェブサイトは、2021年11月9日の企画発表会にあわせてリニューアルを行い、情報の集約拠点として、5言語（日・英・中(簡体字・繁体字)・韓）で発信した。
 - 開館カレンダーの更新速度を向上させるとともに、作品のメンテナンス休館や船の欠航等の緊急情報を伝えるページを公式アプリと連携させ、タイムリーで正確な情報発信を行った。
 - コンテンツの充実や画面構成の一部更新を行ったほか、新たなファン層へのアプローチとして、夏会期後半から来場者の声を紹介する記事をシリーズ化して掲載した。
 - 2021年11月9日から2022年11月6日までに、200の国と地域から、1,547,874ユーザー^{*1}からのアクセスがあった。同期間のセッション数^{*2}は、2,903,637件であった。
- ^{*1} Google Analyticsにより解析したウェブサイトへの訪問者数。期間内に同一ユーザーが何度アクセスしても1件と数える。
^{*2} Google Analyticsにより解析した「延べ何回ウェブサイトが訪問されたか」を示す数字である。
- 約93%は国内からアクセスしたユーザーで、約7%（104,303件）が国外のユーザーであった。

国	ユーザー	ユーザー (%)	国	ユーザー	ユーザー (%)
1. Japan	2021/11/09 - 2022/11/06	1,443,571 93.03%	4. United States	2021/11/09 - 2022/11/06	17,226 1.11%
	2018/11/07 - 2019/11/04	1,473,913 79.44%		2018/11/07 - 2019/11/04	44,682 2.41%
	変化率	-2.06% 17.11%		変化率	-61.45% -53.90%
2. China	2021/11/09 - 2022/11/06	26,877 1.73%	5. Hong Kong	2021/11/09 - 2022/11/06	8,001 0.52%
	2018/11/07 - 2019/11/04	62,998 3.40%		2018/11/07 - 2019/11/04	53,566 2.89%
	変化率	-57.34% -48.99%		変化率	-85.06% -82.14%
3. Taiwan	2021/11/09 - 2022/11/06	23,867 1.54%			
	2018/11/07 - 2019/11/04	131,945 7.11%			
	変化率	-81.91% -78.37%			

- 1日で最もアクセス数（ユーザー数）が多かったのは、開幕日の4月14日の25,049件であった。



② Facebook（フェイスブック）

- 発信できる文字数に制限がないことや公式ウェブサイト上の記事と連携した配信に向くなどの特徴を利用して、イベントの告知や、集客プロモーションなどを中心に発信した。
- アカウントへの「いいね！」件数は、2022年11月6日時点で60,216件となり、2019閉幕時点の59,653件を上回った（約1.01倍）。また、フォロワー数は、同日時点で62,106人となり、2019閉幕時点の59,653人を上回った（約1.04倍）。
- Instagramとシステム統合したことで、Instagramの投稿が自動でFacebook記事としても投稿できるようになり、発信頻度がアップした。

③ Twitter（ツイッター）

- 即時性の高さや拡散力が高い特徴を利用した発信を行った。
- フォロワー数は、2022年11月6日時点で38,507人となり、2019閉幕時点の34,445人を上回った（約1.12倍）。

④ Instagram（インスタグラム）

- 告知だけでなく瀬戸内の風景の美しさや作品の魅力を伝えることなどブランディングにも重点をおいた写真や動画を投稿した。
- フォロワー数は、2022年11月6日時点で61,424人となり、2019閉幕時点の36,226人を上回った（約1.7倍）。

(4) 公式ガイドブック

作品、イベント、地図、食、交通情報などを掲載した公式ガイドブックを発行した。

- ・ 本体価格：1,320円（税込）
- ・ 発行部数：3万6千部



(5) プレスツアー

春、夏、秋の各会期の開幕前に、次のとおり報道関係者向けのプレスツアーを実施した。（宇野港発着のコースは春のみ実施）

会期	開催日	訪問先	参加者数
春	2022/4/12	女木島、男木島、沙弥島（与島を含む）／小豆島、豊島、直島、宇野港周辺 ※1	49
夏	2022/7/15、16	高松港周辺（屋島を含む）、大島、／小豆島 ※2	37
夏	2022/8/3、4	女木島、男木島、豊島、直島、宇野港周辺／小豆島 ※3	68
秋	2022/9/27、28	高見島（多度津町本通を含む）、本島／伊吹島、粟島	43

※1 コロナ禍で参加者の人数制限（1社あたり1名・TVは2名）を実施。

※2 コロナ禍で初めて入国が実現し現地制作を開始した海外作家2名の囲み取材をメインとして実施。

※3 ※2で制作中だった作品の完成形の取材。

(6) 広告

■新聞、雑誌等

媒体名	掲載日	サイズ等	内容
四国新聞	2022/4/1	記事下全5段カラー	作品鑑賞パスポート、フェリー6航路限定3日間乗り放題乗船券、公式アプリ
	2022/4/14	ラッピング60段カラー	メインビジュアル、作品、イベント、作品鑑賞パスポート、公式アプリ、公式ガイドブック、オフィシャルツアー、こえび隊募集
	2022/7/22	記事下全5段カラー	作品鑑賞パスポート、オフィシャルツアー、公式グッズ
	2022/9/15	記事下全5段カラー	作品鑑賞パスポート、イベント情報
山陽新聞	2022/4/14	記事下全5段カラー	作品鑑賞パスポート、公式アプリ
	2022/4/23	記事下半5段カラー	オフィシャルツアー、こえび隊募集、新型コロナウイルス感染症対策のお願い
	2022/8/11	記事下半5段カラー	イベント情報、作品鑑賞パスポート、こえび隊募集
	2022/10/8	記事下半5段カラー	イベント情報、作品鑑賞パスポート
月刊タウン情報 おかやま	2022/3/25	4月号(2頁)	メインビジュアル、作品、オフィシャルツアー、作品鑑賞パスポート、こえび隊募集
	2022/7/25	8月号(2頁)	メインビジュアル、作品、オフィシャルツアー、作品鑑賞パスポート
	2022/9/25	10月号(2頁)	メインビジュアル、作品、公式グッズ、作品鑑賞パスポート
テイクアート 四国	2022/4/7	創刊号 春(裏表紙)	メインビジュアル
	2022/7/28	夏(裏表紙)	メインビジュアル
	2022/9/22	秋(裏表紙)	メインビジュアル
島島ラジオ	2022/4/9- 11/5	CM 20秒 100本	瀬戸内国際芸術祭の概要
ロータリークラブ 会報誌	2022/7/1- 12/1	7月号~12月号(表紙)	メインビジュアル、作品



四国新聞 2022/4/14 ラッピング広告

■交通機関等

実施日	地域	場所等	内容
2022/1/7-11/6	香川県	高松空港	大型吊り下げバナー、柱巻き、デジタルサイネージ、ポスター展示、吊り下げポスター、のぼり
2022/3/16-11/6	中国地方 近畿地方(一部) 中部地方(一部)	JR大阪駅、JR京都駅、JR岡山駅 ほか JR西日本管轄駅	ポスター掲出、チラシ設置、デジタルサイネージ、車内中吊り
2022/3/22-11/6	香川県	ことでんバス 車内	額面広告、高松空港リムジンバス座席ポケット

2022/4/1-11/6	香川県 愛媛県 徳島県 高知県	JR 高松駅、JR 松山駅、JR 徳島駅、 JR 高知駅 ほか 45 駅	懸垂幕、ポスター掲示、車内中吊り
2022/4/2-2023/3/31	岡山県	両備バス（岡山駅⇨宝伝港）	フルラッピング
2022/4/6-11/6	岡山県	岡山高島屋	懸垂幕、屋外フラッグ
2022/4/11-5/1 8/1-21 9/26-10/23	東京都	丸の内エリア	デジタルサイネージ（150 か所）
2022/4/13-11/6	香川県	ことでん瓦町駅 他 14 駅	デジタルサイネージ、ポスター掲出、 車内中吊り、チラシ設置
2022/4/14-11/6	香川県	高松港周辺	横断幕、のぼり
2022/4/14-11/6	香川県	各定期船	横断幕
2022/4/19-11/6	香川県	香川県立体育館建設予定地	横断幕
2022/7/15-8/31	東京都	新橋 Dream ビジョン	デジタルサイネージ
2022/7/23-11/6	香川県	高松中央通り	サイドバナーフラッグ
2022/7/25-11/6	香川県	JR 高松駅前広場周辺	のぼり 150 本



高松空港



J R 高松駅



ラッピングバス（両備バス：岡山駅⇨宝伝港）

(7) パブリシティの実績

- 新聞・テレビ・ラジオ・雑誌・ウェブの各種メディアで、2021年11月9日から2022年11月30日までに1,244件の取材申込みがあった。
- このうち、海外が85件（6.8%）、香川県・岡山県以外の国内が506件（40.7%）であった。

種別	海外	全国	地方	香川・岡山	計
新聞	2	11	22	349	384
テレビ	1	13	7	198	219
ラジオ	1	2	18	26	47
雑誌	25	121	68	72	286
ウェブ	56	238	6	8	308
計	85	385	121	653	1,244

※ 2021年11月9日から2022年11月末日までの集計。

※ 掲載・放送の主眼が芸術祭に置かれているものを中心に抽出。

※ 「地方」は、香川・岡山を除く地方ローカルを指す。

国内メディアでの掲載・放送実績（主なもの）

● 新聞

- ・日本経済新聞関西版 4/22（半6段）
- ・日本経済新聞関西版 8/19（半6段）
- ・読売新聞関西版 8/25（半10段）
- ・デイリースポーツ 7/15（全10段）
- ・The JAPAN TIMES
- ・四国新聞 4/1（3面）、4/14（8面）、7/22（3面）、8/5（3面）、9/15（3面）、9/29（5面）
- ・山陽新聞 4/23（3面）、8/11（2面）、10/8（2面）

● 雑誌

- ・「FRaU」3/1 発行（8P）
- ・「男の隠れ家」3/26 発行（40P）
- ・「ELLE」3/28 発行（1P）
- ・「Residence Club MAGAZINE」5月号（2P）
- ・「GA JAPAN」5/1 発行（20P）
- ・「地球の歩き方 瀬戸内の島々②」4/5 発売
- ・「XD MAGAZINE」4/19（7P）
- ・「ノジュール」4/30 発行（10P）
- ・「日経アーキテクチュア」5/12 発行（10P）
- ・「エンターテインメントビジネス」6/1 発行（8P）
- ・「婦人画報」7/1 発行（10P）
- ・「ことりっぶ Magazine」7/15 発行（18P）
- ・「FIGARO」7/20 発売（12P）
- ・「Harper's BAZAR」7/20 発行（2P）
- ・「BRUTUS」8/1 発行（2P）
- ・「文藝春秋」8/1 発行（3P）
- ・「Discover Japan」8/5 発売（12P）
- ・「Casa BRUTUS」8/9 発売（28P）
- ・「コトノネ」8/20 発行（12P）
- ・「新建築 住宅特集」9/19 発行（2P）
- ・「Fino」10月号（10P）
- ・「OZ magazine TRIP 2022 年冬号」12/13 発売（2P）
- ・「タウン情報まつやま」6/20 発行（1P）
- ・「オセラ」6/25 発行（8P）
- ・「NICE TOWN」7/20 発行（4P）
- ・「月刊タウン情報おかやま」7/25 発行（42P）
- ・「愛媛 Komachi」7/20 発行（8P）

● テレビ

【全国】

- ・BS日テレ「絶景！瀬戸内アート旅 北川景子の感動島めぐり」1/1 放送
- ・毎日放送「ANN ニュースよんちゃん TV」4/27 放送
- ・テレビ大阪「絶景！できたてアートに出会う旅『瀬戸内国際芸術祭 2022』」8/3 放送
- ・テレビ東京「新 美の巨人たち『瀬戸内アート旅』」8/20 放送
- ・NHK総合「あさイチ『愛でたい Nippon』」10/6 放送
- ・テレビ朝日「朝だ！生です 旅サラダ」10/29 放送
- ・BSテレ東「中村獅童の灯台見聞録 瀬戸内編」10/30 放送
- ・ABCテレビ「相席食堂」11/8 放送
- ・関西テレビ「ちまたのジョーシキちゃん」11/25 放送
- ・NHK BS-1「街角ピアノ 小豆島」11/26 放送

【その他】

- ・RSK「メッセージ 今こそアートの力で」3/16 放送
- ・NHK高松「瀬戸芸とわたし ～のんがめぐる 早春アート旅～」3/25 放送
- ・NHK岡山「瀬戸芸を旅して」4/30 放送
- ・NHK高松「さぬきドキッ！現代アートのススメ！～こども×瀬戸芸」6/17 放送

- ・NHK高松「瀬戸芸とわたし ～のんがめぐる 新緑アート旅～」8/3 放送
- ・RNC「瀬戸芸ノススメ 2022」8/6 放送
- ・RNC「news every 報道特別番組『小さな島的美容室』」8/29 放送
- ・NHK高松「あなたとを感じる。アートと瀬戸内」11/2 放送

● ラジオ

- ・TOKYO FM「SUNDAY'S POST」9/18 放送
- ・J-WAVE「TOKYO MORNING RADIO」10/4 放送
- ・RNC/RSKラジオ「島島ラジオ」4月-11月 毎週土曜日放送
- ・FM香川「Letter from 瀬戸内」10/3-27 放送

● ウェブサイト

- ・「SPICE」11/10,4/5,11,28 掲載
- ・「タイムアウト東京」2/21 掲載
- ・「Tokyo Art Beat」4/6,13,8/9,12 掲載
- ・「TOKYO Numero」4/21 掲載
- ・「FASHION PRESS」4/22 掲載
- ・「Casa BRUTUS」4/28,8/19,24,25,26,31 掲載
- ・「インターネットミュージアムアイエム」5/3 掲載
- ・「25Ans」5/17 掲載
- ・「Yahoo!Japan SDGs」5/26 掲載
- ・「coLocal コロカル」6/20 掲載
- ・「婦人画報デジタル」7/2 掲載
- ・「サンテレビ NEWS」7/22 掲載
- ・「Tokyo Weekender」8/3 掲載
- ・「FIGARO」8/8 掲載
- ・「ダイヤモンド・オンライン」8/6 掲載
- ・「美術手帖」8/7 掲載
- ・「Discover Japan」9/19,21,10/1 掲載
- ・「R100 Tokyo」

海外メディアでの掲載・放送実績（主なもの）

● 新聞・雑誌

- ・「一番日本語」（中国）2月掲載
- ・「TIME『THE WORLD'S GREATEST PLACES OF 2022』」（米国）7/12 掲載
- ・「Forbes」（米国）9/11 掲載
- ・「SRT マガジン」（韓国）9月掲載
- ・「Jeux Nature」（仏国）10月掲載
- ・「Ming Pao Weekly」（香港）12月掲載

● ラジオ

- ・「NHK WORLD インドネシア語放送」（インドネシア）10/23 放送

● ウェブサイト

- ・「デジタル朝鮮日報」（韓国）4/18 掲載
- ・「National Geographic Traveller」（英国）4/19 掲載
- ・「Go Japan」（香港）4/25 掲載
- ・「Japan Walker HK」（香港）4/27 掲載
- ・「Nippon Sensor」（香港）5/4 掲載
- ・「Maison 公式 Instagram」（韓国）6/1 掲載
- ・「Conde Nast Traveler」（英国）8月掲載
- ・「Lonely Planet」（米国）8/9 掲載
- ・「Global TRAVEL MEDIA『Japan's Best Inland Sea Travel 2022』」（豪州）9/1 掲載

13. 視察の受入れ

- 瀬戸内国際芸術祭の取組みについて、国内外の行政機関や団体等の参考にしてもらうため、瀬戸内国際芸術祭実行委員会事務局として、視察の受入れを行った。

(1) 視察申込み数 (件)

区 分		2020 年度	2021 年度	2022 年度	計
国 内	行政機関等 ※	－	1	13	14
	その他	－	－	5	5
国 外	行政機関等 ※	－	－	8	8
	その他	－	－	1	1
合 計		－	1	27	28

(2) 視察内容

① レクチャー (件)

区 分		2020 年度	2021 年度	2022 年度	計
国 内	行政機関等 ※	－	1	8	9
	その他	－	－	3	3
国 外	行政機関等 ※	－	－	2	2
	その他	－	－	1	1
合 計		－	1	14	15

② 現地視察 (件)

区 分		2020 年度	2021 年度	2022 年度	計
国 内	行政機関等 ※	－	－	11	11
	その他	－	－	4	4
国 外	行政機関等 ※	－	－	7	7
	その他	－	－	－	－
合 計		－	－	22	22

※ 視察者に行政機関職員が含まれる場合は「行政機関等」の区分に分類。

14. チケット、グッズ

(1) 作品鑑賞チケット

- 瀬戸内国際芸術祭 2022 の会期中、芸術祭の参加作品（施設）を各 1 回鑑賞できる「作品鑑賞パスポート」等を 2021 年 11 月 9 日から閉幕日まで販売した。
- 券種は、3 会期で有効な「3 シーズンパスポート」、各会期のみ有効な「会期限定パスポート」、新規に導入した 1 日又は 2 日間のみ有効な「デイチケット」とした。
- 新規に導入したチケットアプリ（瀬戸芸デジパス）で「デジタルパスポート」を販売した。チケットアプリを利用したパスポート販売枚数は、パスポート販売全体の約 44% を占めた。
- 香川県、岡山県の高校生を対象に 3 シーズンパスポートの無料引換券を交付した。（15 歳以下は無料（案内所等で「こどもパスポート」を配付））

券種と価格

区分		3 シーズンパスポート	会期限定パスポート	1 デイチケット	2 デイチケット
一般（19 歳以上）	前売	4,000 円	-	-	-
	当日	5,000 円	4,200 円	-	-
ユース（16-18 歳）		3,100 円	2,600 円	-	-
島民		2,100 円	-	-	-
区分なし		-	-	1,800 円	3,200 円

販売実績（枚）

区分		3 シーズン	春会期	夏会期	秋会期	計
一般	前売	18,289	-	-	-	39,395
	当日	8,795	1,472	3,517	7,322	
ユース		101	21	62	346	530
島民		1,144	-	-	-	1,144
パスポート計		28,329	1,493	3,579	7,668	41,069
1 デイチケット		-	4,348	4,508	7,417	16,273
2 デイチケット		-	355	497	983	1,835
合計		28,329	6,196	8,584	16,068	59,177

(2) 公式グッズ

- 芸術祭の公式ロゴや今回のメインビジュアルのテーマである「島のお年寄り」をモチーフに公式グッズを制作し、高松港と直島の公式ショップ等で販売した。

・アイテム一覧（販売数）

ポストカード全 25 種（11,368 点）／缶バッジ全 6 種（9,629 点）／てぬぐい全 6 種（5,723 点）／マスキングテープ全 4 種（6,001 点）／Tシャツ全 4 種（3,169 点）／トートバッグ（1,396 点）／紙製ホルダー（9,196 点）／水筒（360 点）／モバイルポーチ（847 点）／サーモタンブラー（383 点）／ボールペン全 3 種（4,085 点）／水性サインペン 40 色セット（43 点）／ハンカチ（1,815 点）／パスポートケース（2,972 点）／ピンバッジ（夏会期～）（960 点）／サンガラス（夏会期～）（937 点）／和三盆バウムクーヘン（夏会期～）（978 点）



公式ショップ（高松港）の様子

Photo: Shintaro Miyawaki

15. 地域への波及、連携

(1) 各会場での住民主体の活動等

● 直島

- ・ 瀬戸内国際芸術祭直島町実行委員会が中心となり、住民による会場周辺や道路の清掃活動を実施した。
- ・ 来場者の出迎え、見送りのために、直島つつじ太鼓による演奏が行われた。
- ・ 住民による受入対策事業として、港周辺や道路に出迎え・道案内・交通マナー啓発の看板等が設置された。

● 豊島

- ・ 豊島観光協会と住民との共同により、豊島の中央にそびえる最高峰、檀山の清掃活動を定期的に行った。
- ・ 閉幕日に、家浦港で、小豆島豊島フェリー・豊島フェリーの協力を得て、住民と関係者で来場者の見送りを行った。
- ・ 豊島小学校 3・4 年生が甲生地区の作品「海を夢見る人々の場所」前の海岸で、芸術祭についての校外学習を行った。
- ・ 住民と福武財団との協働により、棚田の景観維持のための活動の一環として、田植え体験及び収穫体験等の農業体験を行った。

● 女木島

- ・ 女木地区コミュニティ協議会が「段々の風」の作品解説看板を新調した。
- ・ 大川友希のワークショップに、女木島・男木島内からも多くの住民が参加し、作品制作における協働、作家との交流の場となった。
- ・ 芸術祭の開幕にあわせて、2 軒の飲食店が新たに開業した。
- ・ 島民やアーティスト等による見送りが好評だった。閉幕日には、住民等による紙テープを使ったフェリーの見送りが行われた。

● 男木島

- ・ 男木島観光協会が中心となり、港で土産物の販売を行った。住民と交流できる場として来場者から好評であった。
- ・ 男木島の住民向けにエカテリーナ・ムロムツェワ、眞壁陸二、TEAM 男気のワークショップが開催され、住民が制作したものが作品の一部となった。
- ・ 島の子どもたちやイベント参加者、サポーターによる見送りが好評だった。閉幕日には、住民等による紙テープを使ったフェリーの見送りが行われた。
- ・ 男木小中学校の子どもたちが、芸術祭にあわせて自分たちでイベントを企画・実施した。
- ・ 2013 年以降、移住者は延べ 80 人を超えている。子育て世帯が多く、2022 年は小学 1 年生の子どもがいる家族が移住し、入学式が行われた。2017 年からこれまでの間で 6 人の子どもが生まれた。

● 小豆島

- ・ 中山地区住民等の有志やボランティアサポーターなどが毎回 20 名ほど参加し、ワン・ウェンチーの竹を使った大型の作品を作家とともに制作した。
- ・ 福田地区住民等の有志が参加し、イ・スーキュンの作品制作ワークショップを行った。
- ・ 屋形崎地区住民等の有志が参加し、三宅之功の作品制作を行った。

- ・ 迷路のまちボランティアガイドが、アート作品の点在する迷路のまちの周遊案内に積極的に協力した。
 - ・ 土庄港で、土庄町商工会女性部が中心となり、見送りのイベントを夏会期に3回行った。
 - ・ 福田地区の地元有志が協力し、福武ハウスの「葺田夜祭」等のアートプロジェクトが行われた。
- 大島
 - ・ 大島青松園、入所者自治会、高松市、瀬戸内こえびネットワークと月1回の定例検討会を実施し、来場者の入島や作品公開に向けて協議を行った。
 - ・ 大島で採れた梅や柑橘類を使ったお菓子がテイクアウトで販売された。
 - ・ 「学ぶ！楽しむ！オータムスクール」では、参加者の小中学生と入所者との交流が行われた。
 - 犬島
 - ・ 大宮エリーの「フラワーフェアリーダンサーズ」の完成を記念し、アーティストを招いて「フラワーフェアリー生誕祭」を開催した。岡山市内の生徒児童が参加するワークショップを開催した。
 - ・ 犬島婦人会により季節の食がふるまわれた。
 - 沙弥島
 - ・ 会期前に、住民と自治会や各種団体から300名以上が参加し、一斉清掃を行った。
 - ・ 坂出市内の親子で結成された「坂出親子おてつ隊」による島内ガイドが実施された。
 - ・ 坂出市観光協会が案内所横で土産物販売を行った。
 - ・ 王越地区住民等の有志が参加し、GREEN SPACEの作品基盤整備を行った。
 - 本島
 - ・ 会期前に、本島小学校、中学校、自治会、瀬戸内国際芸術祭本島実行委員会が合同で、本島泊港周辺の清掃を行った。
 - ・ 「瀬戸内少女歌劇団」の上演では、脚本を作る際に住民との対話を繰り返し、島的话题を提供してもらった。会場の1つである千歳座の開閉を自治会の方が行った。
 - ・ 子どもたちを含めた住人による「送り太鼓」は、乗船客へ向けて太鼓や笛の演奏と旗振りで見送り、拡声器を使用して住民からメッセージを送った。「送り太鼓」がない日も、週末は住民が自主的に集まり音楽と旗振りで見送った。
 - ・ 住民が自作のベンチを設置したほか、バス停留所等に来場者が休憩しやすい環境を整えた。
 - ・ 川島大幸、藤原史江の作品を丸亀市市民交流活動センター「マルタス」でも展示し、島と本土側とを結ぶ展開を初めて行った。
 - 高見島
 - ・ 島出身者等で結成されたボランティア団体の高見島応援団「さざえ隊」が、日頃から島内の花壇づくりや通路の草刈りなど島内整備を行い、来場者を迎える準備を整えた。
 - ・ 会期中、「さざえ隊」が島歩きガイドや休憩所の設営を行った。
 - ・ 港では、船便にあわせて住民や関係者が、のぼり旗や手を振って来場者の見送りや出迎えを行った。
 - ・ 会期中、島に1軒ある民宿に加え、島出身者や住民の親族が飲食店を期間限定で開店した。郷土料理や軽食、地元でとれた食材を用いた料理を来場者へ提供し、好評であった。
 - ・ 多度津町本通の3会場で、尾花賢一と山田悠の作品展示、並びに多度津町に関する企画展示を行い、本土側を紹介する展開を初めて行った。
 - 粟島
 - ・ 島の活性化を目的に発足した「粟島ぼ〜い&が〜るの会」が、会期中は毎日、来場者に作品

紹介を行った。また、島内の公衆トイレを毎日清掃し、環境美化にも取り組んだ。

- ・ オープニングセレモニー後に「粟島ふる里劇団」の公演を行い、来場者に披露した。
- ・ 三豊市内の NPO 法人が来場者に島や地域の魅力を伝えようと、島内ガイドツアー「子どもガイド」を実施した。
- ・ 港では紙テープや太鼓、鐘、大漁旗等による見送りを行った。

● 伊吹島

- ・ 秋会期を前に、住民や市職員による一斉清掃を行い、来場者を迎える準備を整えた。
- ・ 伊吹島実行委員会により、イリコ庵において無料のお茶会を開催した。
- ・ 「うららの台所」事業では、地元の女性等による弁当の販売を行った。また、笠田高校と連携してメニュー作りや弁当配膳等を行った。
- ・ 観音寺港と伊吹真浦港で、「全力見送り隊」として、住民や各種団体、関係者が一体となって大漁旗等を振り、来場者を見送った。
- ・ マナル・アル・ドワイヤンが来日し行った船乗りの安全を祈願する儀式に島民等が参加し、異文化の体験を行った。
- ・ 観音寺市街地で行った「よるしるべ 2022」に、多くの人が訪れた。

● 高松港周辺

- ・ 高松市屋島山上交流拠点施設（愛称：やしまーる）の完成に伴い、施設や施設周辺でのイベントが企画・開催され、屋島山上に多くの人が訪れた。
- ・ 会期にあわせて、高松港に高松空港リムジンバス停留所が完成した。
- ・ 「高松港食のテラス」横に設置したパークレットが、来場者のみに留まらず、地域の住民にも利用された。

● 宇野港周辺

- ・ 金氏徹平等の作品制作などでワークショップを開催し、住民等とボランティアサポーターが一緒になって作品を作り上げた。
- ・ オープニングイベントでは、高校生主体のステージイベントやマルシェを開催し、会場を盛り上げた。
- ・ 地元老人会や企業、たまのステューデントガイドがボランティアサポーターとして、作品受付を行い、来場者との間に交流が生まれた。
- ・ たまの観光ボランティアガイドの会「つつじの会」が宇野駅での出迎えや港周辺案内、清掃活動を行った。また、会の拠点施設を案内所スタッフ等の休憩所とすることで、より地域とのコミュニケーションが増えた。



作品の協働制作（小豆島）Photo: Shintaro Miyawaki



作品の協働制作（男木島）Photo: Shintaro Miyawaki

(2) 学校連携事業実績

香川県教育委員会や香川県内の高等学校と連携し、会場となっている島々の独自性や県内外からの来場者が多い瀬戸内国際芸術祭ならではの特性などを生かして様々な課外活動等を行い、未来の瀬戸内を担う子どもたちを育成する活動を行った。

● 香川県立小豆島中央高等学校との連携

実施日	内容	参加者数
2020年8月2日	「英語で楽しむ“瀬戸内国際芸術祭”作品鑑賞ツアー」を実施	9
2020年9月27日	作品ガイド体験ツアーを実施	11
2021年10月25日 ～11月20日	日本語及び英語による作品のガイド体験を実施	7
2022年7月30日	作品見学及び作家との交流を実施	6
2022年9月11日	瀬戸内国際芸術祭の学習とこえび隊のガイドツアーを実施	3
2022年10月2日	こえび隊活動への参加と作品ガイドの体験を実施	6

● 香川県立坂出商業高等学校との連携

実施日	内容	参加者数
2021年10月9日	櫃石島の住民との交流活動を実施	12

● 香川県立多度津高等学校との連携

実施日	内容	参加者数
2022年5月29日 ～11月6日	高見島の作家との協働や生徒撮影の写真展示、住民が利用する実用品(テーブル、ベンチ)の制作を実施	延べ90

● 香川県立笠田高等学校との連携

実施日	内容	参加者数
2022年7月19日 ～11月6日	伊吹島の「うららの台所」で提供する弁当のレシピの提案や提供の補助を実施	延べ26

● 香川県立観音寺総合高等学校との連携

実施日	内容	参加者数
2020年10月24日	伊吹島で芸術祭公式カメラマンによるフォト研修やアートツアーを実施	25
2021年4月25日 ～2022年1月21日	伊吹島の住民が利用する実用品(ベンチ)や芸術祭の来場者への提供を想定した弁当の試作のほか、伊吹島の魅力を伝えるツアー等の企画立案を実施	89
2022年4月29日 ～9月24日	伊吹島の作家と連携しながら住民が利用する実用品(ベンチ)を製作するなどの課外活動を実施	延べ79

● 高校生のための瀬戸内アートサマープログラム(香川県教育委員会生涯学習・文化財課との連携)

実施日	内容	参加者数(校数)
2020年8月8日～29日	「地域を深く知ろう!」をテーマに課題解決に取り組むプログラムを実施(講演、フィールドワーク、プレゼン等)	49(12校)
2021年7月17日 ～8月4日	「瀬戸内と深く関わろう!」をテーマに課題解決に取り組むプログラムを実施(講演、フィールドワーク、プレゼン等)	50(17校)
2022年7月18日 ～8月26日	「島へ行こう!芸術祭を伝えよう」をテーマに課題解決に取り組むプログラムを実施(講演、フィールドワーク、プレゼン等)	49(12校)

(3) 県内連携事業

- 芸術祭の開催効果を県内全域に波及させるため、芸術祭の開催エリア以外の県内の観光スポットやアートイベントで、芸術祭と連携することにより相乗効果が期待できるもの 100 か所（一般公募により 33 か所、市町推薦により 67 か所）を選定して相互に P R を行った。
- 会期と会期の間を含む全会期を通して、芸術祭の来場者に、これらのスポットで撮影した写真を、芸術祭 2022 を表す特定のハッシュタグをつけて Instagram に投稿してもらい、魅力的な写真を投稿した人に県産品等をプレゼントするキャンペーンを実施した。

《地域別県内周遊事業対象事業数》

広域 3 件、高松市内 18 件、丸亀市内 7 件、坂出市内 5 件、善通寺市内 7 件、観音寺市内 5 件、さぬき市内 5 件、東かがわ市内 9 件、三豊市内 7 件、土庄町内 5 件、小豆島町内 7 件、三木町内 3 件、直島町内 1 件、宇多津町内 4 件、綾川町内 3 件、琴平町内 5 件、多度津町内 3 件、まんのう町内 3 件 計 100 件

《総投稿件数》

2,814 件

(4) 広域連携事業

- 芸術祭の開催年だけではなく、早い時期から、日本各地で開催されている芸術祭と相互に連携した取組みを行った。

《連携した事業》

- ・ 第 29 回 UBE ビエンナーレ(現代日本彫刻展) (2022 年 10 月 2 日～11 月 27 日)
 - ・ 岡山芸術交流 2022 (2022 年 9 月 30 日～11 月 27 日)
 - ・ 越後妻有 大地の芸術祭 2022 (2022 年 4 月 29 日～11 月 13 日)
 - ・ 国際芸術祭「あいち 2022」(2022 年 7 月 30 日～10 月 10 日)
 - ・ Reborn-Art Festival 2021-22
([前期] 2021 年 8 月 11 日～9 月 26 日、[後期]2022 年 8 月 20 日～10 月 2 日)
 - ・ 房総里山芸術祭 いちはらアート×ミックス 2020+ (2021 年 11 月 19 日～12 月 26 日)
 - ・ 北アルプス国際芸術祭 2020-2021 (2021 年 8 月 21 日～11 月 21 日)
 - ・ 奥能登国際芸術祭 2020+ (2021 年 9 月 4 日～11 月 5 日)
 - ・ せとうち美術館ネットワーク
- 開催前年度までは、主に感染対策に関する視察を行った。開催年度においては、公式ガイドブックや公式ウェブサイト連携先の事業を掲載するとともに、チラシ等の配布により連携先の事業の紹介を行った。また、連携先においては、ウェブサイト等へ瀬戸内国際芸術祭についての情報の掲載や会場でのパンフレットの配布などが行われた。
 - 越後妻有大地の芸術祭 2022 とは、公式グッズの相互販売等も行った。
 - 国内で最も伝統のある現代日本彫刻展を開催している宇部市とは、連携協定を締結し、第 28 回 U B E ビエンナーレにおいて大賞を受賞した三宅之功氏を、瀬戸内国際芸術祭 2022 の参加作家として招待した。

16. 来場者アンケート

会期中に実施したアンケート調査に基づく来場者の傾向は、次のとおりである。

<実施概要>

- 各会場の港において、乗船待ちの来場者を対象にアンケート用紙を配付・回収した。
また、各案内所において、アンケート QR コードを掲示し、オンラインによるアンケートも実施した。
- アンケート実施期間は、春会期は 4 月 29 日～5 月 18 日の計 20 日間(うち、紙配布は 12 日間)、夏会期は 8 月 5 日～9 月 4 日の計 31 日間(うち、紙配布は 22 日間)、秋会期は 9 月 29 日～10 月 31 日の計 33 日間(うち、紙配布は 31 日間)であった。
- 回答総数は 12,462 件。なお、無回答・不明の回答は集計から除いている。

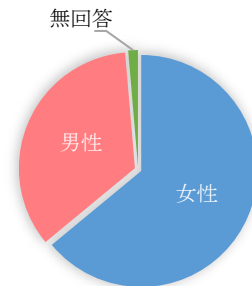
(1) 来場者の属性

- 女性が 64.0%、男性が 34.6%であった。
- 「家族と来た」が 42.0%、「友人と来た」が 34.3%、「ひとりで来た」が 21.1%であった。
- 20代が最も多く 23.0%、次いで 50 代の 20.0%、40 代が 19.0%であった。

■性別

性別	回答数	割合				
		今回	2019	2016	2013	2010
女性	7,977	64.0%	64.9%	67.2%	67.5%	68.6%
男性	4,317	34.6%	35.1%	32.8%	32.5%	31.4%
無回答	168	1.4%	—	—	—	—
計	12,462	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

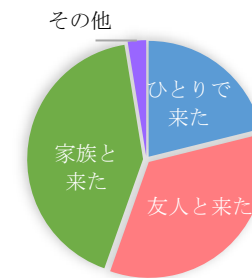
※2019以前は選択肢に「無回答」なし



■グループ関係

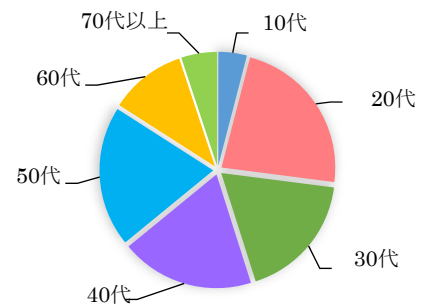
回答	回答数	割合				
		今回	2019	2016	2013	2010
ひとりで来た	2,610	21.1%	18.4%	17.5%	—	—
友人と来た	4,237	34.3%	39.5%	40.1%	—	—
家族と来た	5,190	42.0%	37.8%	34.5%	—	—
その他	317	2.6%	4.3%	7.9%	—	—
計	12,354	100.0%	100.0%	100.0%	—	—

※2013以前は同データなし



■年齢

年齢	回答数	割合				
		今回	2019	2016	2013	2010
10代	497	4.0%	3.4%	5.9%	8.6%	2.8%
20代	2,829	23.0%	24.1%	24.7%	27.6%	40.8%
30代	2,221	18.1%	23.6%	24.1%	23.9%	27.0%
40代	2,334	19.0%	16.2%	18.1%	14.6%	12.1%
50代	2,459	20.0%	16.2%	13.5%	12.1%	9.8%
60代	1,334	10.8%	11.0%	10.1%	9.7%	5.8%
70代以上	626	5.1%	5.5%	3.6%	3.5%	1.6%
計	12,300	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

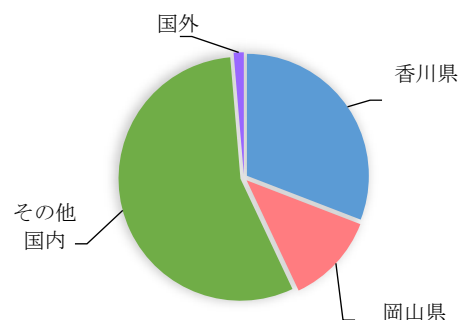


- 居住地は、香川・岡山両県が43.0%、両県以外の国内が55.7%、国外が1.3%であった。
- 国内来場者の地域別では、四国地方が36.3%、次いで関東地方が23.2%、近畿地方が16.1%、中国地方が16.0%であった。
- 国外は、中国、台湾、香港が多く、国外来場者の半数を占めている。
- 過去の芸術祭にも来場した、いわゆるリピーターは55.0%であった。

■来場者居住地

居住地	回答数	割合				
		今回	2019	2016	2013	2010
香川県	3,626	30.9%	28.1%	30.9%	36.1%	27.6%
岡山県	1,424	12.1%	10.5%	9.8%	11.0%	—
その他国内	6,543	55.7%	37.8%	45.9%	50.3%	71.3%
国外	157	1.3%	23.6%	13.4%	2.6%	1.1%
計	11,750	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

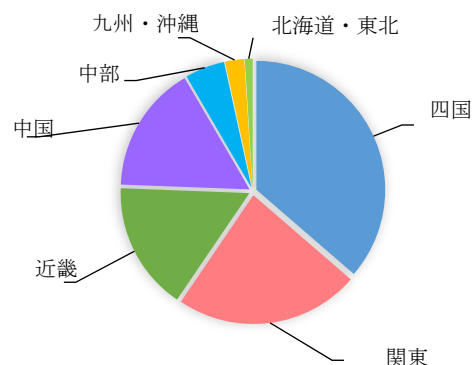
※2010は選択肢「香川県」「香川県以外」「国外」のみ



■国内来場者居住地

地方名	回答数	割合				
		今回	2019	2016	2013	2010
四国	4,214	36.3%	42.1%	41.4%	41.1%	—
関東	2,685	23.2%	15.7%	18.3%	17.8%	—
近畿	1,865	16.1%	16.7%	17.0%	16.5%	—
中国	1,854	16.0%	17.6%	14.7%	14.3%	—
中部	578	5.0%	4.6%	5.4%	4.9%	—
九州・沖縄	281	2.4%	2.5%	2.1%	1.9%	—
北海道・東北	116	1.0%	0.8%	1.1%	0.9%	—
国外	—	—	—	—	2.6%	—
計	11,593	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	—

※2013は「国外」を含む割合、2010は同データなし



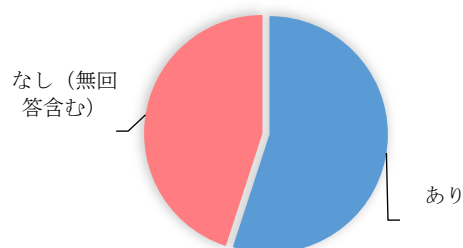
■国外来場者居住地

順位	国/地域名	回答数	割合	順位			
				2019	2016	2013	2010
1	中国	35	22.3%	2	3	8	—
2	台湾	33	21.0%	1	1	1	—
3	香港	16	10.2%	3	2	4	—
4	アメリカ合衆国	15	9.6%	5	5	5	—
5	韓国	9	5.7%	6	7	2	—
6	オーストラリア	7	4.5%	4	6	6	—
7	イギリス	5	3.2%	9	7	7	—
8	スウェーデン	5	3.2%	—	—	—	—
9	マレーシア	4	2.5%	—	—	—	—
10	フランス	3	1.9%	7	4	3	—
—	その他	25	15.9%	—	—	—	—
計		157	100.0%	—	—	—	—

※2010は同データなし

■過去の芸術祭への来場の有無

回答	回答数	割合				
		今回	2019	2016	2013	2010
あり	6,855	55.0%	40.5%	40.9%	32.2%	—
なし(無回答含む)	5,607	45.0%	59.5%	59.1%	67.8%	—
計	12,462	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	—



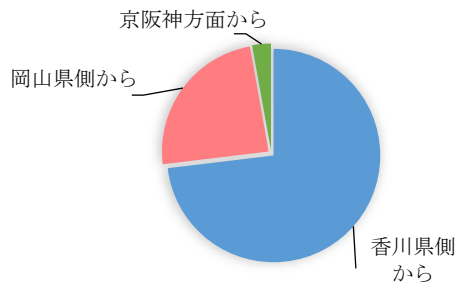
(2) 会場の島への入島経路

- 会場の島へ渡る際、香川県側から渡った人が73.1%、岡山県側からが24.1%、京阪神方面からが2.8%であった。

■会場の島へ渡る際、どちら側から渡ったか

回答	回答数	割合				
		今回	2019	2016	2013	2010
香川県側から	8,804	73.1%	75.4%	—	—	—
岡山県側から	2,900	24.1%	18.8%	—	—	—
京阪神方面から	340	2.8%	5.8%	—	—	—
高松港	—	—	—	61.0%	62.8%	64.8%
宇野港	—	—	—	19.7%	21.0%	29.6%
その他	—	—	—	19.3%	16.2%	5.6%
計	12,044	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

※2019から設問の選択肢を変更



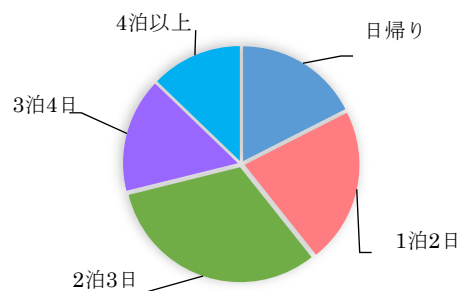
(3) 来場者の滞在状況

- 香川・岡山県以外からの来場者の平均滞在日数は2.85日（芸術祭2019：3.05日）であり、宿泊者の平均宿泊数は2.24泊であった。
- 香川・岡山県以外からの来場者の宿泊地は、高松市内が48.2%、次いで直島が14.4%、小豆島が14.0%であった。

■香川県、岡山県以外からの来場者の滞在（宿泊）日数

日数	回答数	割合				
		今回	2019	2016	2013	2010
日帰り	1,170	17.5%	20.0%	26.8%	25.8%	51.3%
1泊2日	1,456	21.8%	18.4%	22.7%	28.3%	20.2%
2泊3日	2,126	31.9%	23.5%	25.6%	27.6%	17.6%
3泊4日	1,072	16.0%	12.9%	12.3%	11.4%	7.1%
4泊以上	856	12.8%	25.2%	12.6%	6.9%	3.8%
計	6,680	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

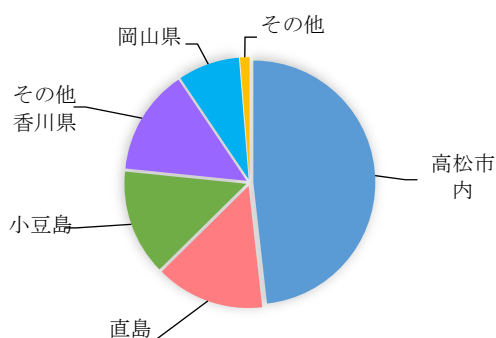
※2010は香川県・岡山県からの来場者を含む



■香川県・岡山県以外からの来場者の宿泊地（複数回答あり）

宿泊地	回答数	割合				
		今回	2019	2016	2013	2010
高松市内	3,393	48.2%	54.1%	40.4%	41.4%	—
直島	1,013	14.4%	12.2%	17.9%	18.6%	—
小豆島	985	14.0%	15.5%	18.4%	18.8%	—
その他香川県	981	13.9%	11.0%	14.1%	13.0%	—
岡山県	576	8.2%	6.0%	6.0%	6.0%	—
その他	89	1.3%	1.2%	3.2%	2.2%	—
計	7,037	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	—

※2010は同データなし

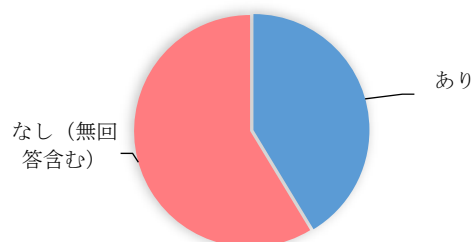


(4) 香川県内の他の観光地への訪問

- 約2.4人に1人が香川県内の芸術祭以外の観光地を訪問している。

■香川県の他の観光地への訪問の有無

回答	回答数	割合				
		今回	2019	2016	2013	2010
あり	5,150	41.3%	32.9%	51.2%	27.3%	25.9%
なし（無回答含む）	7,312	58.7%	67.1%	48.8%	72.7%	74.1%
計	12,462	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



(5) 芸術祭に対する評価

- 96.2%が「非常に良かった」「よかった」と評価している。

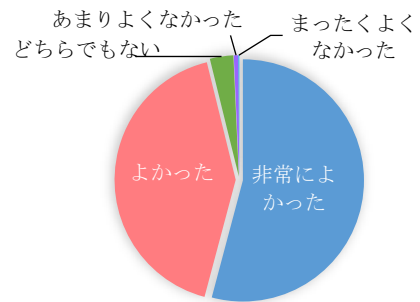
■芸術祭に対する評価

回答	回答数	割合				
		今回	2019	2016	2013	2010
非常に良かった	6,466	54.2%	45.7%	55.4%	52.8%	51.5%
よかった	5,019	42.0%	51.8%	39.9%	41.2%	39.2%
どちらでもない	373	3.1%	—	3.7%	4.6%	7.7%
あまりよくなかった	73	0.6%	2.3%	0.8%	1.2%	1.3%
まったくよくなかった	12	0.1%	0.2%	0.1%	0.2%	0.3%
計	11,943	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

※2019は選択肢に「どちらでもない」なし

※2016、2013は選択肢「とても良い」を「非常に良かった」、「まあ良い」を「よかった」「悪い」を「まったくよくなかった」に置換え

※2010は選択肢「良い」を「非常に良かった」、「まあまあ良い」を「よかった」、「良くない」を「まったくよくなかった」に置換え



- 次回芸術祭が開催された場合、91.6%が「是非来たい」「来たい」と回答している。

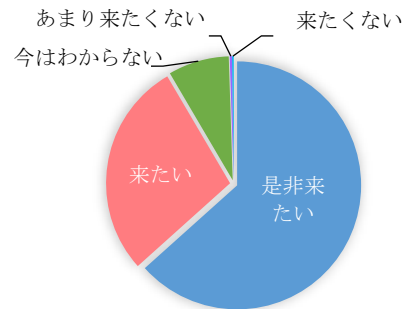
■次回開催されたらまた来たいか

回答	回答数	割合				
		今回	2019	2016	2013	2010
是非来たい	7,599	63.4%	49.4%	51.0%	50.4%	—
来たい	3,379	28.2%	36.9%	30.5%	30.0%	76.2%
今はわからない	953	7.9%	12.4%	15.2%	16.3%	21.8%
あまり来たくない	36	0.3%	—	2.3%	2.5%	—
来たくない	25	0.2%	1.3%	1.0%	0.8%	2.0%
計	11,992	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

※2019は選択肢に「あまり来たくない」なし

※2016、2013は選択肢「たぶん来ない」を「あまり来たくない」、「もう来ない」を「来たくない」に置換え

※2010は選択肢に「是非来たい」、「あまり来たくない」なし



17. 地域住民の評価

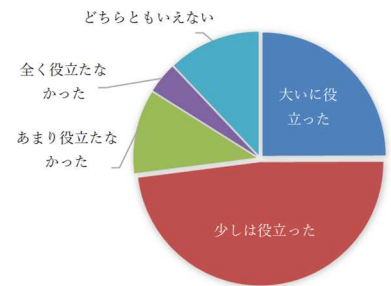
(1) 住民アンケート

- 芸術祭終了後、作品展示エリア地域の住民を対象にアンケート調査を実施し、1,411名から回答があった。
- 芸術祭 2022 が地域の活性化に「大いに役立った」、「少しは役立った」と回答した住民は73.0%であった。

■地域活性化に役立ったと思いますか。

回答	回答数	割合				
		今回	2019	2016	2013	2010
大いに役立った	349	25.0%	34.4%	24.5%	33.9%	36.3%
少しは役立った	672	48.0%	39.0%	47.6%	42.5%	46.1%
あまり役立たなかった	153	10.9%	9.2%	13.4%	9.1%	12.7%
全く役立たなかった	56	4.0%	6.3%	6.7%	5.9%	4.9%
どちらともいえない	169	12.1%	11.1%	7.8%	8.6%	—
計	1,399	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

※2010は選択肢に「どちらともいえない」なし

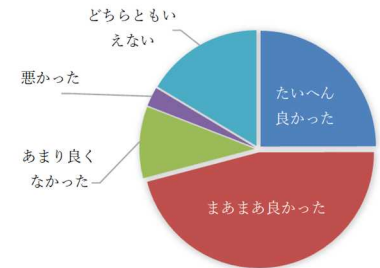


- 自分が住む地域に芸術祭の作品が設置されたことについて、「たいへん良かった」、「まあまあ良かった」と回答した住民は70.9%であった。

■お住いの地域に作品が設置されたことは良かったですか。

回答	回答数	割合				
		今回	2019	2016	2013	2010
たいへん良かった	345	25.0%	31.8%	26.9%	36.2%	42.9%
まあまあ良かった	635	45.9%	36.6%	42.6%	42.2%	45.4%
あまり良くなかった	138	10.0%	8.7%	9.8%	6.0%	8.9%
悪かった	37	2.7%	6.0%	5.5%	4.0%	2.7%
どちらともいえない	227	16.4%	16.9%	15.2%	11.6%	—
計	1,382	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

※2010は選択肢に「どちらともいえない」なし

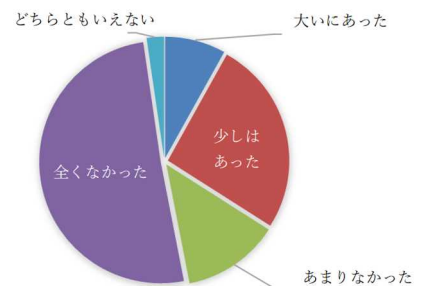


- 作家や来場者との交流が「大いにあった」、「少しはあった」と回答した住民は34.1%であった。

■作家や来場者と交流する機会がありましたか。

回答	回答数	割合				
		今回	2019	2016	2013	2010
大いにあった	112	8.1%	10.8%	15.5%	—	—
少しはあった	360	26.0%	30.2%	33.7%	—	—
あまりなかった	179	12.9%	16.3%	18.3%	—	—
全くなかった	704	50.7%	41.1%	31.3%	—	—
どちらともいえない	32	2.3%	1.6%	1.2%	—	—
計	1,387	100.0%	100.0%	100.0%	—	—

※2013以前は同データなし

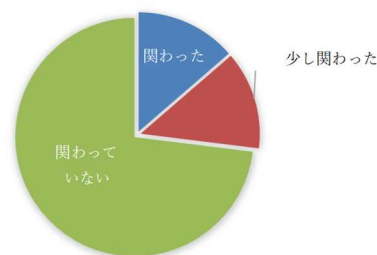


- 作品受付やボランティアなどに「関わった」、「少し関わった」と回答した住民が27.0%であった。

■作品制作・受付、来場者の見送り、案内、食事の提供など芸術祭に関わりましたか。

回答	回答数	割合				
		今回	2019	2016	2013	2010
関わった	190	13.7%	17.2%	24.6%	—	—
少し関わった	185	13.3%	16.6%	21.2%	—	—
関わっていない	1,016	73.0%	66.2%	54.2%	—	—
計	1,391	100.0%	100.0%	100.0%	—	—

※2013以前は同データなし

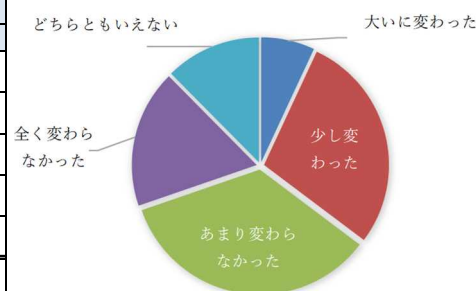


- 芸術祭を通じて自分が住む地域の見方が「大いに変わった」、「少し変わった」と回答した住民が35.2%であった。

■地域の再発見や愛着、地域に対する思いや見方が変わりましたか。

回答	回答数	割合				
		今回	2019	2016	2013	2010
大いに変わった	96	6.9%	10.2%	10.6%	—	—
少し変わった	392	28.3%	29.4%	34.4%	—	—
あまり変わらなかった	477	34.5%	28.7%	27.5%	—	—
全く変わらなかった	247	17.9%	23.1%	17.3%	—	—
どちらともいえない	172	12.4%	8.6%	10.2%	—	—
計	1,384	100.0%	100.0%	100.0%	—	—

※2013以前は同データなし

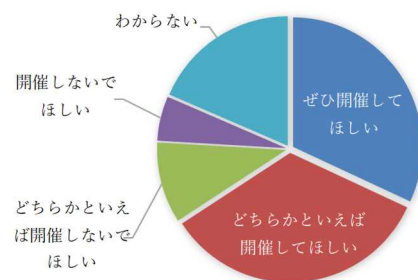


- 今後も芸術祭を「ぜひ開催してほしい」「どちらかといえば開催してほしい」と回答した住民が65.8%であった。

■今後も芸術祭を開催してほしいですか。

回答	回答数	割合				
		今回	2019	2016	2013	2010
ぜひ開催してほしい	436	31.9%	32.8%	29.2%	49.4%	46.4%
どちらかといえば開催してほしい	463	33.9%	30.1%	35.8%	33.9%	37.7%
どちらかといえば開催しないでほしい	138	10.1%	12.2%	10.9%	7.4%	12.8%
開催しないでほしい	76	5.6%	10.0%	8.3%	6.1%	3.0%
わからない	253	18.5%	14.9%	15.8%	3.2%	—
計	1,366	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

※2010は「開催に反対」を「開催しないでほしい」に置換え、選択肢に「わからない」なし



(2) 住民意見交換会での意見

芸術祭閉幕後、会場となった地域の自治会役員や関係者等との意見交換会を開催した。主な意見は次のとおり。

● 直島

- ・ コロナ禍で来島者が少なかったが、芸術祭で多くの方に来てもらい久々に活気が感じられた。
- ・ 来場者が減少した分ゆっくりと作品を見ることができ、来場者の満足度は高かったと思う。
- ・ テイクアウトの飲食店が増えた影響か、容器等のゴミが道端等に置かれているのが目についた。
- ・ 来場者の自転車や電動キックボード等の交通マナーが悪く、危険を感じることもあった。次回は、来場者が増えると思うので対策を考えてほしい。

● 豊島

- ・ 来場者が少なかったのもあるが、豊島美術館が予約制になったので、混雑が緩和された。
- ・ 自転車マナーが相変わらず悪いので、今後も引き続き対策が必要である。
- ・ 積み残しなどで乗船できなかった場合の対策が必要である。他の島への行き方や、関連性のある時刻表を作成し周知することが必要である。
- ・ 閉館日を知らずに来る来場者がいる。乗船する前の周知対策が必要である。
- ・ 豊島の将来は交流人口抜きでは考えられない。多くの人に来てもらうために、歓迎の心が大切だ。

● 女木島

- ・ 看板による鑑賞ルートの制限により、来場者が民家の密集部に入らなかったのはよかった。
- ・ 会場運営に一部の住民が関わったが、今回はさらに増えればよいと思う。
- ・ 自転車のスピードの出しすぎや道に広がっての走行など、レンタサイクル利用者のマナーが悪かった。
- ・ ごみの持ち帰り推奨だけでなく、島内に捨てられる場所を整備した方がよい。
- ・ 島内の景観を活用した屋外作品を充実させてほしい。

● 男木島

- ・ コロナ禍で地元の行事ができていなかった中での芸術祭の開催は住民により刺激になった。
- ・ 作品制作や運営で高齢者が関われなかったことが残念。次回は関われる活動ができればよい。
- ・ ごみを島に残す人がいる。
- ・ 各島と男木島を結ぶ航路が増えれば、より島を巡りやすくなり、住民も芸術祭を楽しめる。
- ・ 授乳室や休憩スペースとして男木コミュニティセンターを有効に活用できるよう、正しい利用方法を情報発信してほしい。
- ・ スマホの充電切れに困っている来場者が見られたので、充電対応の検討及び周知をしてほしい。

● 小豆島（土庄町）

- ・ 来場者との交流ができてよかったが、地元の商店に対する恩恵も考えれば、地域が発展すると思う。
- ・ 小豆島には有料作品が少なく、1 デイチケットの販売の案内がし辛かった。
- ・ 作品の再入場（有料作品）の方法を検討すべきだと思う。
- ・ 毎回、作品の選定や設置場所が決まるのが遅い。そこから準備が遅れバタバタしている。
- ・ 暑い夏会期を外して、秋会期を早く始めて長くして欲しい。

● 小豆島（小豆島町）

- ・ 船と島内バスとの連絡が課題となっている。
- ・ 小豆島はただでさえ広い中、作品が散らばると来場者の負担になる。周遊性を高める必要がある。
- ・ 池田地区に作品が来たのはうれしかった。やはり作品があると地元が活気づく。
- ・ コロナ禍で積極的に関わることができなかったのが残念だ。次回は積極的に関わりたい。
- ・ 前回に比べ、ごみのポイ捨てが減ったように思う。

● 大島

- ・ 初めて大島を訪れる人が多く、島のことを知ってもらえた。
- ・ こえび隊のガイドツアーに多くの来場者が参加してくれた。
- ・ 作品の場所について、もう少し分かりやすい標示があった方がよい。

● 犬島

- ・ 既存のトイレだけでは数が足りていないので、仮設トイレを設置したほうがよい。
- ・ 今回は、来場者数が少なかったため、宝伝港の駐車場が不足するようなことはなかった。
- ・ 外国人来場者は少なかったが、身振り手振りで案内すると喜ばれた。
- ・ 宝伝港側にも作品の設置をお願いしたい。

● 沙弥島

- ・ 今回は新型コロナウイルスの影響で食の提供を中止したが、次回は食の提供を通じて、島の食文化を体験していただき芸術祭と一緒に盛り上げていきたい。
- ・ 今回、与島が初めて会場となり、普段入れない鍋島灯台の建物内にも入ることができ、非日常を感じ、楽しむことができた。

● 本島

- ・ 開幕前に住民を対象とした作品鑑賞の機会があれば、もう少し来場者に説明できた。
- ・ 笠島に作品が集中しているので、島の西の方にも展開してほしい。
- ・ 笠島方面にも案内所又は窓口になる場所を用意してほしい。
- ・ 3年後は外国人来場者が増えると思うので、作品受付場所だけでなく、飲食店や観光名所にも英語や中国語の案内ガイダンスを用意した方がよい。
- ・ 3年後も「送り太鼓」を実施したいが、子どもの人数は減っているので、次回は子ども主体ではなく住民1人ひとりの意識を上げていきたい。
- ・ 瀬戸内少女歌劇団が公演日に「送り太鼓」に参加し、旗振りをしてくれたことは非常に盛り上がった。
- ・ 秋会期の期間中が盛り上がるだけでなく、会期以外の時にもイベントを開催したい。

● 高見島、多度津町本通

- ・ 今回、コロナ禍で開催に不安もあったが、来場者自身が自分の身を守るという意識が感じられた。運営にあたり、コロナ対策もできていたので無事に終わってよかった。
- ・ 会期中何度か軽度の熱中症の人やけが人が出たが、町職員の保健師を配置していたことで素早く応急処置ができていてよかった。
- ・ 会期中船便の増便や臨時便の対応があったのはとてもよかった。

- ・住民の高齢化が進み、地元のお祭りや運動会など、これまでやってきた行事もできなくなっている中で、作家や来場者など若い人が来てくれるきっかけとなったことはよかったと思う。今後、若い人たちが島に住むきっかけとなるようなものを作り上げていければよい。
- ・現在、島内の作品は屋内のものが主となっており、屋外作品が少ない。また、浜地区に作品が少ないため、次回以降は、浜地区にももう少し作品を増やしてほしい。
- ・作品受付付近は非常に電波が悪く、次回以降も受付を集約するのであれば対策が必要である。
- ・住民やスタッフが一丸となって見送りをした姿に来場者から感動したという声が多かった。
- ・陸地部への来場者の周遊を促す方法を検討する必要がある。次回に向け、多度津の町を歩いてもらい、産業の活性化に繋げるにはどうすればよいのか考えなければならない。
- ・陸地部の作品設置場所はどれも歴史的に価値のある建物であり、場所の選定がよかった。

● 粟島

- ・定期航路の見直しをして、16時台に増便してほしい。
- ・継続作品が多いため、新規作品を制作してほしい。
- ・プランの共有をもっと早くからしてほしい。
- ・有名な作家より、日本の若い作家を呼んでほしい。
- ・芸術家村は有料作品と無料作品が混在し、案内し辛かったので見直してほしい。
- ・有料作品の再入場の方法を検討してほしい。
- ・アート作品として展示しているものと、環境問題やSDGsを啓発するものとの仕分けができていなかったもので、整理してアピールできたらよいと思う。
- ・市内の子どもが来てくれる方法を考えたい。
- ・島がにぎやかになったので、開催してよかった。

● 伊吹島

- ・ib07 レクイエムの展示中止について、本土側や島側に大きな看板を置くなどして、分かりやすく周知すべきだった。また、会場に別のものでもよいので、何か置いて欲しかった。
- ・臨時船について、港の時刻表の看板に書き込んでいるのみだったため、もっと周知すべきだった。
- ・オフィシャルツアーのコースについて、伊吹島の西側を回って石門近くを通ったり、円上島などのジオサイトで注目されている近隣の島を紹介しながら粟島へ向かう航路の方がよかった。
- ・粟島のような高齢者に優しい移動手段や、島を一周している県道を回るコースを考えるとよい。
- ・次回は万博もあり外国人の増が予想される。パンフレットや説明看板の多言語対応が必要と思う。
- ・会期に合わせて再整備した割岩道は江戸時代からの旧道。通れるようになりよかった。他にも歴史ある道がたくさんある。
- ・観音寺総合高校のガイドツアーについて、地域の若い世代が伊吹を知るよい機会となったと思う。
- ・うららのお弁当が今回も好評で、皆美味しかったと言ってくれた。

● 宇野港（玉野市）

- ・競輪場行きのバスを上手く利用して、来場者の利便性に繋がれたらよい。
- ・たまの学生ガイドについて、プログラムとしては外国の方と関わるのがメインであるが、それだけでないということコロナ禍で子どもたちが考えるきっかけとなった。
- ・お弁当を地元のホテルが作ることで、地元飲食店の方がSNSを通じて、宇野港会場にあるお

弁当を勧めていてよかった。玉野の野菜と同じ土地でできた塩が、食材の美味しさをより引き出してくれるものとしてアピールできた。今回、コンセプトとして出てきた塩は、次回も継続した方がよいと思う。

- 日によってボランティアの確保に苦戦した。芸術祭自体のPRが足りないと感じた。芸術祭を知っていただき、自分事として関わっていただく方を増やしていかないと充実した運営は難しいと感じた。3年毎のお祭りではあるが、3年後まで活動を中断するのではなく、折に触れて、こえび隊と地域の皆さんが触れ合える機会が作れたらよいと思う。

18. 芸術祭開催による効果

(1) 経済波及効果

- 日本銀行高松支店と瀬戸内国際芸術祭実行委員会が共同で、平成 27 年香川県産業連関表を用いて推計した香川県内における経済波及効果は以下のとおりである。

経済波及効果	直接効果	1 次波及効果	2 次波及効果
103 億円	68 億円	23 億円	13 億円
うち春会期 28 億円	うち春会期 18 億円	うち春会期 6 億円	うち春会期 4 億円
夏会期 32 億円	夏会期 21 億円	夏会期 7 億円	夏会期 4 億円
秋会期 43 億円	秋会期 28 億円	秋会期 9 億円	秋会期 5 億円

直接効果：芸術祭の来場者による県内消費金額から、財・サービスの調達を県外に頼らざるを得ないなど、県外に消費が流れた部分を控除したもの。

1 次波及効果：直接効果によって県内各産業の生産額が増加した額。

2 次波及効果：直接効果及び 1 次波及効果によって生じた雇用者所得の増加分が、新たな消費に向けられることにより、県内各産業の生産額が増加した額。

前提条件：瀬戸内国際芸術祭実行委員会が期間中に実施したアンケート結果や各会場へ向かう航路の乗船人数等を踏まえ、試算上の人員を 19.4 万人として推計。

(2) その他地域経済への効果等

- 観光庁（四国運輸局）によると、2022 年 1 月から 10 月までの香川県内の延べ宿泊者数は前年比 154.9%で、8 月の都道府県別の客室稼働率において、香川県が 59.5%と全国 5 位の稼働率であった。
- 香川県が公表している県内の主要観光地（栗林公園、屋島、琴平、小豆島）の 2022 年ゴールデンウィーク期間中（4 月 29 日からの 10 日間）の入込客数は 19 万 5 千人で前年比 187.4%となった。
- 四国運輸局の調べでは、会期中における会場の島々への航路利用者が前回比 75.7%となった。方面別では、いずれも対前回比で、直島・豊島・犬島方面が 81.9%、男木島・女木島・大島方面が 58.5%、小豆島方面が 77.6%となったほか、秋会期開催の本島・高見島・栗島・伊吹島方面は 70.4%であった。
- 高松空港の 2022 年 4 月から 10 月までの利用実績は、前年比 253.2%であった。特に芸術祭の会期の中心となる 5 月、8 月の 2 か月では前年比 301.1%であった。
※高松空港株式会社毎月発表している「高松空港旅客輸送実績」より実行委員会事務局で集計。
- 米国の週刊ニュース雑誌「TIME(タイム)」にて、「The World's Greatest Places of 2022 (2022 の世界で最も素晴らしい場所)」で、瀬戸内の島々が選ばれ、瀬戸内国際芸術祭が紹介された。
- 四国新聞の読者が投票で選ぶ「2022 年県内 10 大ニュース」の 4 位に「瀬戸内国際芸術祭 2022」がコロナ禍での開催」が選ばれた。(2022 年 12 月 24 日付け四国新聞記事)

19. 芸術祭 2022 の収支状況（3 カ年）

(1) 収入

(単位：百万円)

区分	2020年度	2021年度	2022年度 (見込み)	計 (見込み)
負担金	25	312	387	724
香川県	10	100	135	245
関係市町	15	112	152	279
福武財団	0	100	100	200
補助金・助成金	14	32	75	121
寄付金・協賛金	4	126	101	231
チケット・グッズ等販売収入※	0	3	136	139
その他	1	3	57	61
小計	44	476	756	1,276
前年度繰越金	-	8	280	-
収入 計	44	484	1,036	① 1,276

※各種チケットの総売上げ約 208 百万円から諸経費を差し引いたものを関係者間で按分したもの、グッズの総売上げ約 79 百万円から得られる手数料収入など。

(2) 支出

(単位：百万円)

区分	2020年度	2021年度	2022年度 (見込み)	計 (見込み)
アートプロジェクト費	20	109	493	622
作品制作・イベント費等	20	108	461	589
式典等開催費	0	1	32	33
運営活動費	16	69	440	525
広報活動費	11	44	67	122
交通対策費	0	0	30	30
会場等運営費	1	18	332	351
事務局運営費	4	7	11	22
チケット・グッズ関係費	0	26	29	55
支出 計	36	204	962	② 1,202

(3) 収支差額

(単位：百万円)

収入 ①	1,276
支出 ②	1,202
収支差額 (①-②)	74

(参考：芸術祭2019)

収入	1,324
支出	1,145
収支差額	179